学校コード F115110105055 注3

設置年度 令和 4年度

計画の区分: 研究科の専攻の設置又は課程の変更

注1



注2

長岡技術科学大学大学院 工学研究科 先端工学専攻 (博士後期課程)

【事前相談】設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人長岡技術科学大学 令和4年5月1日現在

作成担当者

担当部局 (課) 名 大学戦略課企画·広報室

電話番号 0258-47-9207

(夜間) 0258-47-9207

e — mail kikaku@jcom. nagaokaut. ac. jp

- (注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。
 - 2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院 ・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に

- () 書きにて、設置時の旧名称を記載してください。
- 例) ○○大学 △△学部 □□学科

(旧名称:◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

大学の設置の場合:「〇〇大学」

・学部の設置の場合:「○○大学 △△学部」

• 学部の学科の設置の場合:「○○大学 △△学部 □□学科」

・短期大学の学科の設置の場合:「○○短期大学 △△学科」

大学院設置の場合:「〇〇大学大学院」

大学院の研究科の設置の場合:「○○大学大学院 ○○研究科」

・大学院の研究科の専攻の設置等の場合:「○○大学大学院 ○○研究科 ○○専攻(修士課程)」

• 通信教育課程の開設の場合:「○○大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。

なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、 当該番号を記載してください。

https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html

目次

工学研究科

<先	元端工学専攻 >	^^−	ジ
1.	調査対象大学等の概要等・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	•	1
2.	授業科目の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	•	5
3.	施設・設備の整備状況、経費・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	•	1 1
4.	既設大学等の状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	•	12
5.	教員組織の状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	•	1 4
6.	附帯事項等に対する履行状況等・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	• ;	37
7.	その他全般的事項・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	• ;	38

- 1 調査対象大学等の概要等
- (1) 設置者

国立大学法人 長岡技術科学大学

- (2) 大 学 名 長岡技術科学大学
- (3) 調査対象大学等の位置

〒940-2188 新潟県長岡市上富岡町1603-1

- (注)・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
 - ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設 置 時	変 更 状 況	備考
理事長			
学長	(カマド シゲハル) 鎌土 重晴 (令和3年4月1日)		
研究科長	(タケダ マサトシ) 武田 雅敏 (令和3年4月1日)		

- (注)・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を
 - () 書きで記入してください。
 - (例) 令和3年度に報告済の内容 → (3)令和4年度に報告する内容 → (4)
 - ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
 - ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
 - ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください (入試 区分ごとではありません) 。
 - ・ <u>なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位</u> <u>(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、 別ファイルにて提出してください</u>(作成方法は、事務連絡「令和4年度の履行状況報告書の提出について(依頼)を 確認してください)。
 - ・ <u>様式は、平成30年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合(令和4年度までの5年間)ですが</u>、 完成年度を越えている場合は別途ご連絡ください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) -① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の	学位又は学科の		の計画	画 学生募集の係					
名称 (学位)	分野	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	止について	備考		
工学研究科 先端工学専攻 博士(工学)	工学関係	3 年	30	年次 一	90	新規入学者を 募集中			

- (注)・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 - ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 - ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号 (その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
 - ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。

(5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	平均入学定員 超 過 率	開設年度から 報告年度まで の平均入学定	備考
区分	春季入学 その他の学期		員超過率					
A 入学定員					30 (–) [–]			
志願者数					10 (-) () [-] []			秋季入学 で14人が
受験者数					10 (-) () [-] []	0. 33倍	-	入学する 見込みで あり、合
合格者数					10 (-) () [-] []			わせると 0.8倍とな る予定
B 入学者数					10 (-) () [-] []			
入学定員超過率 B/A					0. 33			

- (注)・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
 - ・ () 内には、<u>編入学の状況について**外数で**記入</u>してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。 該当がない年度には「一」を記入してください。
 - 転入学生は記入しないでください。
 - ・ []内には、<u>留学生の状況について**内数で**記入</u>してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。<u>春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「一」を記入</u>してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「入学定員超過率」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出** してください。なお、計算の際は<u>小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入</u>してください。
 - 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、 報告年度(令和4年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 - ・「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ 記入してください。完成年度を越えていない場合は「一」を記入してください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

	対象年度	平成 3	0年度	令和え	年度	令和 2	2年度	令和:	3年度	令和 4	1年度		備	考
学	年	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	•	1)用	4 5
	1 年次									10	[]			
	2年次													
	3年次													
	4年次													
	計									1 [- (-	0]			

- (注)・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
 - ・ []内には、<u>留学生の状況について**内数で**記入</u>してください。該当がない年度には「一」を記入してください。
 - ・()内には、<u>留年者の状況について、内数で記入</u>してください。<u>該当がない年には「一」を記入</u>してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。<u>春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「一」を記入</u>してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、<u>各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数</u>を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分				内訳		
	在学者数(b)	退学者数(a)	7 241 L L L	退学	者数	主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
対象年度			入学した年度		うち留学生数	
平成30年度	\ \	_	平成30年度	\	\	
令和元年度		7	平成30年度	7	7	
7 和儿牛皮			令和元年度	7	7	
			平成30年度		\ \	
令和2年度	/ \	/ \	令和元年度	7	7	
			令和2年度	7	7	
			平成30年度		\ \	
令和3年度			令和元年度			
			令和2年度	/ X	/ X	
	/		令和3年度	7	7	
			平成30年度	7	7	
			令和元年度	7	7	
令和4年度	10 人	0 人	令和2年度	\ \	/ \	
			令和3年度	/	\ \	
			令和4年度	0 人	0 人	
合 計		0 人		0 人	0 人	

- (注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。
 - ・ 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
 - ・ 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、<u>留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入</u>してください。
 - ・ 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
 - ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学カ不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

【令和4年度】

令和4年度の退学者数(a) 令和4年度の在学者数(b)

平成30年度の退学者数(a) = 0 = #DIV/0! 9% 【令和元年度の在学者数(b) = 0 = #DIV/0! 9% 「令和元年度の退学者数(a) = 0 = #DIV/0! 9% 「令和2年度の退学者数(a) = 0 = #DIV/0! 9% 「令和3年度の在学者数(b) = 0 = #DIV/0! 9% 「令和3年度の退学者数(a) = 0 = #DIV/0! 9% 「令和3年度の起学者数(b) = 0 = #DIV/0! 9%

(注)・ <u>小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示</u>されます。

0

2 授業科目の概要

<工学研究科 先端工学専攻>

(1) 一① 授業科目表

【認可時又は届出時】

単位数 専任教員等の配置 科目 区分 配当年次 授業科目の名称 エネルギーエ学分野 エネルギー工学輪講 I 1.2.3① 必修 エネルギー工学輪講 Ⅱ 1.2.32 3 8 15 5 研究者倫理 1.2.3(1).(2 15 小計(3科目) 0 0 8 0 0 0 5 15 熱エネルギー工学特論 1.2.3(2) 流体エネルギー工学特論 1.2.32 2 エネルギー変換・制御工学特 1.2.32 ... パワーエレクトロニクス・メカト 1.2.31 2 1 ロニクス工学特論 電気化学エネルギー工学特 1.2.3(1) 2 招雷導材料工学特論 1.2.3(2) 2 環境発電セラミック材料工学 1.2.31 2 特論 エネルギー変換材料工学特論 選択科目 1.2.3(2) 2 1.2.32 脱炭素システム特論 2 プラズマ・核融合工学特論 1.2.3(1) 2 高エネルギー密度プラズマ物 性工学特論 1.2.3(1) 2 原子カエネルギーマネジメン ト特論 1.2.31 2 応用核化学 1.2.31 2 環境放射能特論 1.2.32 2 火災·爆発安全特論 1.2.31 2 生体材料工学特論 1.2.31 小計(16科目) 0 32 0 6 10 0 0 0 情報・制御工学分野 情報·制御工学輪講 I 1.2.3(1) 情報·制御工学輪講Ⅱ 17 1.2.3(2) 3 13 1 科目 研究者倫理 1.2.31.2 17 小計(3科目) 1 0 0 7 0 0 13 17 1 1.2.3(1) 計算機工学特論 2 有限要素解析特論 1 • 2 • 3(2) 2 非線形システム設計特論 1.2.3(1) 2 カオス・フラクタル情報数理工学特論 1.2.3(1) 2 1.2.3② 情報回路工学特論 2 非線形光学特論 1.2.3(2) 2 2 1 信号画像処理特論 1.2.3(1) 2 2 招精密計測工学特論 1.2.3(1) 2 システム制御工学特論 1.2.3(2) 2 フィードフォワード制御特論 1.2.3(1) 2 データマネジメント特論 1.2.3(2) 2 超精密加工工学特論 1.2.3(2) 2 機械要素設計工学特論 1.2.3(2) 2 機械・環境系設計工学特論 1.2.31 2 1 人間·社会·産業情報学特論 1.2.3② 2 経営戦略特論 1.2.3(1) 2 1 社会情報学特論 1.2.3(1) 2 2 情報数理応用工学特論 1.2.3(1) 2 1 1 牛体医工学特論 1.2.3(1) 2 ネットワークシステム特論 1.2.3(2) 2 1 脳・生体情報工学特論 1.2.31 小計(21科目) 42 0 13 13 0 0 材料工学分野 材料工学輪講I 1.2.31 必修 材料工学輪講Ⅱ 1.2.32 3 12 13 4 研究者倫理 1 • 2 • 3 ① • ② 小計(3科目) 0 0 12 4 0 0 7 先端材料創製工学特論 1.2.31 応用非破壊材料評価特論 1.2.31 回折物理学特論 1.2.3② 無機構造材料工学特論 1.2.3② 精密分子設計特論 I 1.2.31 2 精密分子設計特論Ⅱ 1.2.31 2 有機機能材料工学特論 1.2.3② 2 有機固体化学特論 1.2.32 2 機能材料工学特論 1.2.31 2 1 材料物性学特論 1 • 2 • 3(2) 2 光デバイス工学特論 1.2.3(2) 2 選択科目 エレクトロセラミックス工学特論 1.2.3② 2 破壊予測工学特論 1.2.3② 2 構造安全設計特論 1.2.3② 2 持続可能環境材料工学特論 1.2.3(2) 2

1.2.3①

機能性無機材料工学特論

【令和4年度】

#I =		E3 W	j	单位数					の配		Ì
科目 区分	授業科目の名称	配 当年 次	必	選	自	教	准教	講	助	助	3
エネ	 		修	択	由	授	授	師	教	手	
必必	エネルギー工学輪講Ⅰ	1 • 2 • 3(1)	3			8	15	3			Г
修	エネルギー工学輪講Ⅱ	1.2.32	3			8	15	3			
科	研究者倫理	1-2-31-2	1			8	15	3			
目	小計(3科目)	-	7	0	0	8	15	3	0	0	
	熱エネルギー工学特論	1.2.32		2			1				
	流体エネルギー工学特論 エネルギー変換・制御工学特	1.2.3(2)		2		1					
	ニイルイー変換・利仰エ子符論	1.2.32		2			3				
	パワーエレクトロニクス・メカト	1 • 2 • 3(1)		2		2	1				
	ロニクス工学特論 電気化学エネルギー工学特										
	論	1.2.3(1)		2			1				
	超電導材料工学特論	1.2.32		2		1					
122	環境発電セラミック材料工学 特論	1.2.31		2			1				
選択	エネルギー変換材料工学特	1 • 2 • 3(2)		2		1					
科	論の出来シュニノ料金	_									
目	脱炭素システム特論 プラズマ・核融合工学特論	1·2·3② 1·2·3①		2		1	1				
	高エネルギー密度プラズマ物	_									ı
	性工学特論	1.2.3(1)		2			0				ı
	原子カエネルギーマネジメント特論	1.2.31		2							ı
	応用核化学	1.2.31		2		1					ı
	環境放射能特論	1.2.3②		2			1				l
	火災・爆発安全特論	1.2.31		2							ı
	生体材料工学特論	1.2.3①		2			1				L
I+ +r	小計(16科目)	-	0	32	0	7	11	0	0	0	L
	・制御工学分野	1-0-01	1	1	1	10	10	_	1		Т
必修	情報·制御工学輪講 I 情報·制御工学輪講 II	1 • 2 • 3 (1) 1 • 2 • 3 (2)	3			18 18	16 16	0			ı
科	研究者倫理	1.2.3(1).(2)	1			18	16	0			ı
目	小計(3科目)	-	7	0	0	18	16	0	0	0	t
	計算機工学特論	1.2.3①		2		1					t
	有限要素解析特論	1.2.32		2			1				ı
	非線形システム設計特論	1.2.31		2		1					ı
	カオス・フラクタル情報数理 工学特論	1.2.31		2							ı
	情報回路工学特論	1 • 2 • 3(2)		2		1					ı
	非線形光学特論	1.2.32		2		2	1				ı
	信号画像処理特論	1.2.31		2		1	1				ı
	超精密計測工学特論	1.2.31		2		1					ı
	システム制御工学特論	1.2.32		2		1	0				ı
選	フィードフォワード制御特論	1.2.3①		2		1					ı
択科	データマネジメント特論	1.2.3(2)		2			1				ı
Ħ	超精密加工工学特論	1 - 2 - 3(2)		2		1					ı
	機械要素設計工学特論 機械·環境系設計工学特論	1·2·3② 1·2·3①		2		1					ı
	人間·社会·産業情報学特論	1.2.3(2)		2		1	3				١
	人间·杜云·	1.2.3(2)		2		1	3				ı
	社会情報学特論	1.2.3(1)		2		1	1	0			ı
	社云 情報 子 付 調 情報 数 理 応 用 工 学 特 論	1.2.3(1)		2		1	2	ľ			١
	生体医工学特論	1.2.3①		2		1	2				ı
	ネットワークシステム特論	1.2.32		2			1				ı
	脳·生体情報工学特論	1.2.3①		2			1				L
	小計(21科目)	-	0	42	0	17	14	0	0	0	ſ
材料	工学分野										
必	材料工学輪講 I	1.2.3①	3			12	15	1			l
修科	材料工学輪講Ⅱ 研究者倫理	1.2.3(2)	3			12	15	1			ı
目	研究者倫理 小計(3科目)	1.2.3(1).(2)	7	0	0	12	15 15	1	0	0	ł
	先端材料創製工学特論	1.2.3①	r –	2	,	1	- 10	<u>'</u>	٦		t
	応用非破壊材料評価特論	1.2.3①		2		1					ı
	回折物理学特論	1.2.32		2			1				ı
	無機構造材料工学特論	1.2.32		2		1	0				١
	精密分子設計特論 I	1.2.3①		2		1					ı
	精密分子設計特論Ⅱ	1.2.3①		2		1					ı
	有機機能材料工学特論	1.2.3②		2		1					١
	有機固体化学特論	1.2.3(2)		2		1	,				ı
	機能材料工学特論 材料物性学特論	1·2·3① 1·2·3②		2			1				ı
	州村物性子符論 光デバイス工学特論	1.2.3(2)		2		1					ı
55		. 2 3/2				ľ	1				ı
選択	エレクトロセラミックス工学特	1.0.00									1
択科	論	1.2.3②		2			'				ı
択科	論 破壞予測工学特論	1.2.3②		2		1					
択科	論 破壞予測工学特論 構造安全設計特論	1·2·3② 1·2·3②		2		1	1				
択科	論 破壞予測工学特論	1.2.3②		2		1					

1	ものづくりDXシステム特論	1.2.3(1)	1	2				l	l		1
	電磁波·光波制御工学特論	1.2.3(2)		2		1	2				
	分子ロボット工学特論	1.2.3(2)		2			-	1			
	結晶工学特論	1.2.3(2)		2			1				
	計算材料科学特論	1.2.3(1)		2			1				
	レーザ加工学特論	1.2.3(2)		2			1				
	小計(22科目)	-	0	44	0	12	12	1	0	0	4
社会	環境・生物機能工学専攻		Ů		•			<u> </u>	Ŭ	Ū	_
-	社会環境·生物機能工学輪	1 • 2 • 3(1)	3			13	19				8
必	講Ⅰ	1-2-3()	3			13	13				٥
修科	社会環境·生物機能工学輪 講 II	1.2.3②	3			13	19				8
目	研究者倫理	1-2-31-2	1			13	19				8
	小計(3科目)	-	7	0	0	13	19	0	0	0	8
1	防災安全·災害復興学特論	1.2.31		2		1					
	複合材料·構造学特論	1.2.31		2		1	1				
	材料寿命及び余寿命予測特 論	1.2.3②		2		1					
	aa 個構造学特論	1.2.3(2)		2		1					
	都市交通計画学特論	1.2.3②		2		1					
	国土総合計画学特論	1.2.3②		2			1				
	水圏工学特論	1.2.3(1)		2		2	2				
	環境システム工学特論	1.2.3②		2			2				3
	応用地盤解析学特論	1.2.3(1)		2		1	1				
	災害軽減・復興システム学特論	1.2.3①		2		1	1				
	地圏工学特論	1.2.3(2)		2		1					
選	地球環境計測工学特論	1.2.3(2)		2		-	1				
択	生物材料応用工学特論	1.2.3(1)		2			1				
科日	植物遺伝子工学特論	1.2.3(1)		2			1				
H	幹細胞工学特論	1.2.3(1)		2							1
	微生物機能利用工学特論	1.2.3②		2		1					
	植物統合工学特論	1.2.3②		2			1				
	環境応用生化学特論	1.2.3②		2		1					
1	野生動物管理工学特論	1.2.3(1)		2			1				
1	糖鎖生命工学特論	1.2.32		2			1				
1	イオンチャンネルと興奮膜	1.2.32		2		1					
	バイオリファイナリー研究開 発	1.2.32		2							1
	スポーツエ学・ヒューマンダイ ナミクス融合特論	1.2.3②		2							1
I	神経機能制御学	1.2.32		2			1				
1	遺伝子工学特論	1.2.32		2			1				
L	小計(25科目)	-	0	50	0	13	16	0	0	0	6
	合計(96科目)	-	28	168	0	46	64	5	0	0	14

卒業要件及び履修方法

履修り1法 必修科目7単位を含め42単位(修士課程又は博士前期課程における修得単位30単位を含む)以上修 得しなければならない。

課程の修 f (1) 博士課程を修了するには、大学院に5年(修士課程を修了した者にあっては、当該課程における 2年の在学期間を含む。)以上在学し、所定の単位を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、博 士論文を提出してその審査及び最終試験に合格しなければならない。 (2) 博士論文は、在学期間中に所定の朔日までに提出しなければならない。

_		=	_			_					
	ものづくりDXシステム特論	1.2.3①		2							1
	電磁波·光波制御工学特論	1 • 2 • 3 ②		2		1	3				
	分子ロボット工学特論	1 • 2 • 3 ②		2			1	0			
	結晶工学特論	1 • 2 • 3 ②		2			1				
	計算材料科学特論	1.2.31		2			1				
	レーザ加工学特論	1.2.3②		2			1				
	小計(22科目)	-	0	44	0	12	13	0	0	0	4
社会	∶環境・生物機能工学専攻										
必	社会環境·生物機能工学輪 講 I	1.2.3①	3			13	20	1			5
修科	社会環境·生物機能工学輪 講 II	1.2.3②	3			13	20	1			5
目	研究者倫理	1.2.31.2	1			13	20	1			5
	小計(3科目)	-	7	0	0	13	20	1	0	0	5
	防災安全·災害復興学特論	1.2.31		2		1					
	複合材料·構造学特論	1.2.3①		2		1	1				
	材料寿命及び余寿命予測特 論	1.2.3②		2		1					
	鋼構造学特論	1.2.3②		2		1					
	都市交通計画学特論	1.2.3②		2		1					
	国土総合計画学特論	1.2.3②		2			1				
	水圏工学特論	1.2.3①		2		2	2				
	環境システム工学特論	1.2.3②		2			2				3
	応用地盤解析学特論	1.2.3①		2		1	1				
	災害軽減・復興システム学特 論	1.2.3①		2		1	1				
	地圏工学特論	1.2.3②		2		1					
選	地球環境計測工学特論	1.2.3②		2			1				
択	生物材料応用工学特論	1.2.3①		2			1				
科目	植物遺伝子工学特論	1.2.3①		2			1				
	幹細胞工学特論	1.2.3①		2							1
	微生物機能利用工学特論	1.2.3②		2		1					
	植物統合工学特論	1.2.3②		2			1				
	環境応用生化学特論	1.2.3②		2		1					
	野生動物管理工学特論	1.2.3①		2			1				
	糖鎖生命工学特論	1.2.3②		2			1				
	イオンチャンネルと興奮膜	1 • 2 • 3 ②		2		1					
	バイオリファイナリー研究開 発	1.2.32		2							1
	スポーツエ学・ヒューマンダイ ナミクス融合特論	1.2.3②		2							1
	神経機能制御学	1.2.32		2			1				
	遺伝子工学特論	1.2.32		2			1				
	小計(25科目)	-	0	50	0	13	16	0	0	0	6
	合計(96科目)	-	28	168	0	51	66	5	0	0	15

卒業要件及び履修方法

必修科目7単位を含め42単位(修士課程又は博士前期課程における修得単位30単位を含む)以上修 得しなければならない。

課程の修了

歴年の修
「(1) 博士課程を修了するには、大学院に5年(修士課程を修了した者にあっては、当該課程における
2年の在学期間を含む。)以上在学し、所定の単位を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、博士論文を提出してその審査及び最終試験に合格しなければならない。
(2) 博士論文は、在学期間中に所定の期日までに提出しなければならない。

- (注)・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
 - ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を
 - 黒字で記入してください。その上で、各年度については、<u>認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**</u>としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために<u>未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入</u>してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和2年度開設であれば令和元年度)の表は適宜削除してください。
 - (<u>2つの表が1ページに表示されるように</u>してください。)
 - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、 「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。

(1) - ②授業科目表に関する変更内容

【令和4年度】
・教員の採用および所属変更により、「エネルギー工学輪講Ⅰ、エネルギー工学輪講Ⅱ、研究者倫理」の専任教員等の配置を「教授8、准教授15、兼任・兼担5」から「教授8、准教授15、講師3、兼任・兼担4」に変更。
・授業分担の見直しにより、「エネルギー変換・制御工学特論」の専任教員等の配置を「准教授1、兼任・兼担1」から「准教授3、兼任・兼担1」に変更。
・授業分担の見直しにより、「パワーエレクトロニクス・メカトロニクス工学特論」の専任教員等の配置を「教授1、推任・兼担1」から「教授2、准教授1、兼任・兼担1」に変

- (注)・ 2 (1) 一① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、

授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。

- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
- ・ 不要な年度(令和2年度開設であれば令和元年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

		i	設置時	の計画		= <u>+</u> (変更状況					備考			
必修	参	選	択	自	由	計()	۹)	必何	多	選	択	É	由	i	ŀ	湘石
12	科目	84	科目	0	科目	96	科目	12	科目	84 [科目	0	科目	96 [科目	

(注)・ <u>未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入</u>するとともに、 [] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例:1科目減の場合: Δ 1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単 位 数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由,代替措置の有無
1						
2	討	当な	L			
3						

- (注)・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入して ください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

 - ・ <u>履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。</u> ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入して ください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単 位 数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由,代替措置の有無
1						
2	該	当な	L			
3						

- (注)・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入して ください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 - ・教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入して ください。

(5)	授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の	カ所見」及び「	学生への周知方法」

(注)・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、 学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

	D計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合	「設置時の計画の授業科目数の計」に対す	(6)
--	--------------------------	---------------------	-----

未開講科目(3)と廃止科目(4)の計	_	0	_	0 %
設置時の計画の授業科目数の計(A)	_	96	_	0 76

- (注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。 ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように 留意してください。

3 施設・設備の整備状況,経費

	区		分				Þ	内容							備考	
(1)		区	分		専	用		共	用		共用する 学校等の				計	
校		校舎	膏敷 均	也	242, 155 m²				0			0 1	m²	242, 155 m²		
权		運動	場用地	3		92, 712	m²		0	mi		0 1	mî	ที่ 92, 712 mi		
地		小	計	ŀ		334, 867	m [‡]		0	m [‡]		0 1	m [*]		334, 867 m	
等		そ	の他	1		42, 617	m²		0	m²		0 1	mi		42, 617 m	
,		合	詴	ŀ		377, 484	m [*]		0		U m + 7		mî		377, 484 m	
					専	用		共	用		共用する 学校等の			1	計	
(2) 校			舎			91, 589	m [‡]		0	m [*]		0 1	m [*]		91, 589 m	
				ı	(91, 589		(0 m²)	(0 m ²)	(91, 589 m ²	
				講	義室		演習	室	実験実	習室	情報处	処理学習		語学	学習施設	使用区別変更に伴う増
(3) 教		室	等		39 36	室	46	47 室	717	833 室			3 室		1 室	減(4)
											(補助		人) (補助	(職員 人)	
(4) 専	任教!	員研究	室		新設学部					室			107	数		大学全体
				5	vi ⇒	工学研究			- 攻			199 4	97		室	
(5)	新	f設学部	部等		図 書 ち外国書〕	r	学術雑 うち外国		電子ジャ	+	視聴覚	党資料	機械・器	具	標本	
(3)	の名称			らが同島)	m '	ノウル国	種してうち外国				点		点	点		
					·								-			
図		学研究		171, 90	00 (67,000) 12,300 (10				3, 750]		1, 500		0	C	大学全体	
書 •		学専			22 [64, 690 72 [64, 988		354 [7, 8		6, 291 [6 (6, 337 [6		. 4	1, 633 1, 380)	(0)		(0)	購入及び廃棄等に伴 う増減 (4)
設備				171 0/	20 507 000	3 10 (200 510	0003	0.000.00	7503		1 500				
		計		171, 90	00 (67,000	12, 3	300 (10,	200)	8, 800 (8	i, 750J		1, 500		0	C	
					22 〔64, 690 72 〔64, 988		354 (7,8 303 (7, 8		6, 291 [6 (6, 337 [6		. (1, 633 1, 380)	(0)		(0)	
(O) F			^-		面	積			閲覧座	席数		収	納可	能	冊数	
(6) 図	i	書	館			2,	934 m ^f	2			309				191, 000	大学全体
(7) 体		育	館		面	積				体育館以						
(7) 4		Ħ	Kb			2,	715 m ^f	野球場 習場	、テニスコ	ート、ゴ	ルフ練	屋内プ- ム、弓道	-ル、ト 道場	レーニ	ニングルー	大学全体
		経費	Þ	<u> </u>	分	開設年	度	完成年度	区	分	開設前	前年度	開設年	度	完成年度	
(8)		の見 積り			研究費等	_	千円	— ₹	円 図書	購入費	_	千円		千円	— 千円	
経費の積り及	兄 び _			研 3	党 費 等	_	千円	<u> </u>	·円 設備	購入費	_	千円	_ =	千円	一 千円	
維持方 の 概	要	学生 1	J	第	1 年次	第2			3 年次	第4年			年次	-	第6年次	
		納尓			一 千円		— 千円		一 千円	_	- 千円		一 千円		— 千円	
	学生納付金以外の維持方法の概要															

- (注)・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、 複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、<u>その他の</u> 項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
 - ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和4年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ <u>昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正</u>するとともに、 <u>その理由及び報告年度「(4)」を「備考」に赤字で記入</u>してください。
 - なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、<u>見え消しのまま黒字にしてください</u>。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」 を併せて提出してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称	長岡	技 術	科学大	、学			学生募集停止学科数	6	平均入学定員超 過率1.3倍以上の 学科等数	0	備考
既設学部等の名称	修業年限	入学 定員	編入学定員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	令和4年度 入学定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の 学科のみ)	開設 年度	所 在 地	
	年	人	年次	人		倍	倍	年度	年度	年度	
			人								
<学士課程>											
工学部											
工学課程	4	80	3 年次 340	1000	学士	-	1. 13	※令和6	令和4	新潟県長岡市 上富岡町1603-1	※ 3年次編入学定 員を変更
機械創造工学課程	4	-	3年次	-	学士	-	-		平成12	同上	令和4年学生募集停止
電気電子情報工学課程	4	-	3年次	-	学士	-	-		平成12	同上	令和4年学生募集停止
物質材料工学課程	4	-	3年次	-	学士	-	-		昭和52	同上	令和4年学生募集停止
環境社会基盤工学課程	4	-	3年次	-	学士	-	-		平成27	同上	令和4年学生募集停止
生物機能工学課程	4	-	3年次	-	学士	-	-		平成元	同上	令和4年学生募集停止
情報・経営システム工学課程	4	-	3年次	-	学士 ^(工学)	-	-		平成12	同上	令和4年学生募集停止
学部全体	1	80	3 年次 340	1000	-	-	-	-	-	-	

大学の名称	長岡	技 術	科学大	、学 大	学 院		学生募集停止学科数	11	平均入学定員超 過率1.3倍以上の 学科等数	0	備考
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学定員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	令和4年度 入学定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の 学科のみ)	開設 年度	所 在 地	
	年	人	年次	人		倍	倍	年度	年度	年度	
<大学院>			人								
工学研究科											
(修士課程)											
工学専 <u>攻</u>	2	404	0	808	修士 (工学)	-	0. 98		令和4	新潟県長岡市 上富岡町1603-1	
機械創造工学専攻	2	-	-	-	修士 (工学)	-	-		平成16	同上	令和4年学生募集停止
電気電子情報工学専攻	2	_	-	_	修士	-	-		平成16	同上	令和4年学生募集停止
物質材料工学専攻	2	_	-	_	修士	-	-		昭和55	同上	令和4年学生募集停止
環境社会基盤工学専攻	2	_	-	_	修士	-	-		平成27	同上	令和4年学生募集停止
生物機能工学専攻	2	-	-	-	修士	-	-		平成4	同上	令和4年学生募集停止
情報・経営システム工学専攻	2	-	-	_	修士	-	-		平成16	同上	令和4年学生募集停止
原子カシステム安全工学専攻	2	-	-	_	修士	-	-		平成24	同上	令和4年学生募集停止
<u>システム安全工学専攻</u>	2	15	0	30	修士	0. 76	0. 60		令和3	同上	
(5年一貫制博士課程)											
技術科学イノベーション専攻	5	15	0	75	博士	0. 73	0. 80		平成27	新潟県長岡市 上富岡町1603-1	
(博士後期課程)										— <u>—</u>	
<u>先端工学専攻</u>	3	30	0	90	博士	-	0. 33	令和4	令和4	新潟県長岡市 上富岡町1603-1	
情報・制御工学専攻	3	-	-	-	博士 ^(工学)	-	-		昭和62	同上	令和4年学生募集停止
材料工学専攻	3	-	-	-	博士 ^(工学)	-	-		昭和61	同上	令和4年学生募集停止
エネルギー・環境工学専攻	3	-	-	-	博士 ^(工学)	-	-		昭和61	同上	令和4年学生募集停止
生物統合工学専攻	3	-	-	-	博士	-	-		平成18	同上	令和4年学生募集停止
大学院全体	-	464	0	1003	-	-	-	-	-	-	

- (注)・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学、大学院、短期大学及び 高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください(専攻科及び別科を除く)。

 - ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。 ※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている 場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」には、報告年度(令和4年度)から起算した修業年限に相当する期間の 入学定員超過率の平均を記載してください。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を 記入してください。

5 教員組織の状況

<工学研究科 先端工学専攻>

(1)一① 担当教員表

【認可時又は届出時】

		5.油山时】
専任・ 兼担・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ の 別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
		武田 雅敏
専	教授 (工 学研	<令和4年4月> 博士(工学)
	究科 長)	エネルギー工学輪講 I エネルギー工学輪講 I エネルギー変換材料工学特論 研究者倫理
		大石 潔
		<令和4年4月> 博士(工学)
兼担	講師	エネルギー工学輪講 I エネルギー工学輪講 I パワーエレクトロニクス・メカ トロニクス工学特論 研究者倫理
		門脇・敏
専	教授	<令和4年4月> 博士(工学)
		エネルギー工学輪講 I エネルギー工学輪講 I 火災・爆発安全特論 研究者倫理
	教授	河合 晃
専		<令和4年4月> 博士(工学)
等		機能材料工学特論 研究者倫理 材料工学輪講 I 材料工学輪講 I
		北谷 英嗣
専	教授	<令和4年4月> 博士(理学)
7	ζ.	研究者倫理 材料工学輪講 I 材料工学輪講 II
		塩野谷 明
		<令和4年4月> 博士(工学)
専	教授	スポーツ工学・ヒューマンダイナミクス融合特論 研究者倫理 社会環境・生物機能工学輪講 I 社会環境・生物機能工学輪講 I
		本多 元
±	#F120	<令和4年4月> 博士(理学)
専	教授	研究者倫理 社会環境・生物機能工学輪講 I 社会環境・生物機能工学輪講 II

【令和4年度】

LTIT	04年	支】
専任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名
専	教授 (学究長)	武田 雅敏 < 令和4年4月 > 博士(工学) エネルギー工学輪講 I エネルギー工学輪講 I エネルギー工学輪講 I エネルギー変換材料工学特論 研究者倫理
專	教授	大石 潔
専	教授	門脇 敏
専	教授	塩野谷 明 〈令和4年4月〉 博士(工学) スポーツ工学・ヒューマンダイナミクス融合特論 研究者倫理 社会環境・生物機能工学輪講 I 社会環境・生物機能工学輪講 I
専	教授	本多 元 < 令和4年4月 > 博士(理学) 研究者倫理 社会環境・生物機能工学輪講 I 社会環境・生物機能工学輪講 I

専任・ 兼担・ 兼任 の別 氏 名 (年 齢) マ就任(予定)年月 保有学位等 担当授業科目名	>
兼性 一	>
担当授業科目名	
城所 俊一	
<	
研究者倫理 社会環境・生物機能工学幹 社会環境・生物機能工学幹	論講Ⅰ 論講Ⅱ
井原 郁夫	
< 令和4年4月 >	
中 教育	
竹中 克彦	
<令和4年4月> 博士(工学)	
専 教授 研究者倫理 材料工学輸講 I 材料工学輸講 I 精密分子設計特論 I	
大塚悟	
<令和4年4月> 博士(工学)	
応用地盤解析学特論 研究者倫理 社会環境・生物機能工学軟 社会環境・生物機能工学軟	論講Ⅰ 論講Ⅱ
明田川 正人	
<令和4年4月> 博士(工学)	
専 教授 研究者倫理 情報・制御工学輪講 I 情報・制御工学輪講 I 超精密計測工学特論	
原信一郎	
< 令和4年4月 >	
研究者倫理 情報・制御工学輪講 I 情報・制御工学輪講 I 情報数理応用工学特論	
阿部 雅二朗	
機械・環境系設計工学特論 研究者倫理 情報・制御工学輪講 I 情報・制御工学輪講 I	À
陸旻皎	
<令和4年4月> 博士(工学)	
専 教授 研究者倫理 社会環境・生物機能工学輸 社会環境・生物機能工学輸 水圏工学特論	

また		I
専任・ 兼担・ の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
		城所 俊一
専	教授	<令和4年4月> 理学博士
		研究者倫理 社会環境・生物機能工学輪講Ⅰ 社会環境・生物機能工学輪講Ⅱ
		井原 郁夫
専	教授	<令和4年4月> 博士(工学)
1	教技	応用非破壊材料評価特論 研究者倫理 材料工学輸講 I
		材料工学輪講Ⅱ
		竹中 克彦
専	教授	<令和4年4月> 博士(工学)
		研究者倫理 材料工学輪講 I
		材料工学輸講Ⅱ 精密分子設計特論 I
	教授	大塚 悟
		<令和4年4月>
車		博士(工学)
"		応用地盤解析学特論 研究者倫理
		社会環境・生物機能工学輪講 I 社会環境・生物機能工学輪講 II
		明田川 正人
専	教授	<令和4年4月> 博士(工学)
1		研究者倫理 情報・制御工学輪講 I 情報・制御工学輪講 I 超精密計測工学特論
		原信一郎
専	教授	<令和4年4月> 博士(理学)
।	1 X1X	研究者倫理 情報・制御工学輪講 I 情報・制御工学輪講 I 情報数理応用工学特論
		阿部 雅二朗
専	数+¤	<令和4年4月> 博士(工学)
寸	教授	機械・環境系設計工学特論 研究者倫理 情報・制御工学輪講Ⅰ 情報・制御工学輪講Ⅱ
		1月報・利仰工字無講工 陸 旻皎
事	粉坪	<令和4年4月> 博士(工学)
専	教授	研究者倫理 社会環境・生物機能工学輸講 I 社会環境・生物機能工学輸講 I 水圏工学特論
		i

専任・ 兼担・ の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
		滝本 浩一
	+/_ 1=0	<令和4年4月> 理学博士
専	教授	イオンチャンネルと興奮膜 研究者倫理 社会環境・生物機能工学輪講Ⅰ 社会環境・生物機能工学輪講Ⅱ
		高橋 勉
専	教授	<令和4年4月> 博士(工学)
—————————————————————————————————————	教授	エネルギー工学輪講 I エネルギー工学輪講 I 研究者倫理 流体エネルギー工学特論
		李志東
専	教授	<令和4年4月> 博士(経済学)
र	教授	エネルギー工学輪講 I エネルギー工学輪講 I 研究者倫理 脱炭素システム特論
	教授	江 偉華
専		<令和4年4月> 博士(工学)
-47		エネルギー工学輪講 I エネルギー工学輪講 I 研究者倫理
		松原浩
専	教授	<令和4年4月> 博士(工学)
र		機能材料工学特論 研究者倫理 材料工学輪講 I 材料工学輪講 I
		湯川高志
専	教授	<令和4年4月> 博士(情報学)
7	教授	計算機工学特論 研究者倫理 情報・制御工学輪講 I 情報・制御工学輪講 II
		小野 浩司
声	₩ +∞	<令和4年4月> 博士(工学)
専	教授	研究者倫理 材料工学輸講 I 材料工学輸講 I 電磁波・光波制御工学特論
		斎藤 秀俊
専	数 垣	<令和4年4月> 工学博士
1	教授	研究者倫理 材料工学輸講 I 材料工学輸講 I 無機構造材料工学特論

また		
専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
		滝本 浩一
車	教授	<令和4年4月> 理学博士
- 1	1 X1X	イオンチャンネルと興奮膜 研究者倫理 社会環境・生物機能工学輪講 I 社会環境・生物機能工学輪講 I
		髙橋 勉
		<令和4年4月> 博士(工学)
専	教授	エネルギー工学輪講 I エネルギー工学輪講 I 研究者倫理
		流体エネルギー工学特論
		李 志東
車	教授	<令和4年4月> 博士(経済学)
		エネルギー工学輪講 I エネルギー工学輪講 I 研究者倫理
		脱炭素システム特論
	教授	
専		<令和4年4月> 博士(工学)
		エネルギー工学輪講 I エネルギー工学輪講 I 研究者倫理
		松原 浩
_	教授	<令和4年4月> 博士(工学)
専		機能材料工学特論
		研究者倫理 材料工学輪講 I 材料工学輪講 II
		湯川高志
		< 令和4年4月> 博士(情報学)
専	教授	計算機工学特論
		研究者倫理 情報・制御工学輪講 I 情報・制御工学輪講 II
		小野 浩司
	ie.	く令和4年4月> 博士(工学)
専	教授	研究者倫理 材料工学輪講 I 材料工学輪講 I 電磁波·光波制御工学特論
		斎藤 秀俊
	- ا بد	<令和4年4月> 工学博士
専	教授	研究者倫理 材料工学輪講 I 材料工学輪講 I 無機構造材料工学特論

専任・ 兼担・ 兼任 の別 職名 (年 齢) <就任 (予定)年月> 保有学位等	,
担当授業科目名	
岩崎 英治 <令和4年4月>	
専 教授 博士(工学) 研究者倫理 鋼構造学特論 社会環境・生物機能工学輪 社会環境・生物機能工学輪	
高橋 修	
< 令和4年4月 >	
研究者倫理 材料寿命及び余寿命予測特 社会環境・生物機能工学輪 社会環境・生物機能工学輪	講I
佐野 可寸志	
研究者倫理 社会環境・生物機能工学輪 社会環境・生物機能工学輪 都市交通計画学特論	
細山田 得三	
研究者倫理 社会環境・生物機能工学輪 社会環境・生物機能工学輪 水圏工学特論	
末松 久幸	
・ エネルギー工学輪講 I エネルギー工学輪講 I 研究者倫理 超電導材料工学特論	
太田 浩之	
機械要素設計工学特論 研究者倫理 情報・制御工学輪講Ⅰ 情報・制御工学輪講Ⅱ	
三好 孝典	
フィードフォワード制御特研究者倫理 情報・制御工学輪講 I 情報・制御工学輪講 I	論
池田 隆明	
< 令和4年4月 >	
研究者倫理 災害軽減・復興システム学 社会環境・生物機能工学輪 社会環境・生物機能工学輪	講I

古/1	ı	Γ
専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
		岩崎 英治
車	教授	<令和4年4月> 博士(工学)
,	3232	研究者倫理 鋼構造学特論 社会環境・生物機能工学輪講 I 社会環境・生物機能工学輪講 I
		髙橋修
車	教授	<令和4年4月> 博士(工学)
- 1	4X1X	研究者倫理 材料寿命及び余寿命予測特論 社会環境・生物機能工学輪講 I 社会環境・生物機能工学輪講 II
		佐野 可寸志
車	教授	<令和4年4月> 博士(工学)
4	教授	研究者倫理 社会環境・生物機能工学輪講 I 社会環境・生物機能工学輪講 I 都市交通計画学特論
		細山田 得三
車	教授	< 令和4年4月> 博士(工学)
		研究者倫理 社会環境・生物機能工学輪講 I 社会環境・生物機能工学輪講 I 水圏工学特論
		末松 久幸
専	教授	<令和4年4月> 工学博士
	70.10	エネルギー工学輪講 I エネルギー工学輪講 I 研究者倫理 超電導材料工学特論
		太田 浩之
車	教授	<令和4年4月> 博士(工学)
		機械要素設計工学特論 研究者倫理 情報・制御工学輪講 I 情報・制御工学輪講 I
		三好 孝典
専	数垣	<令和4年4月> 博士(工学)
77	教授	フィードフォワード制御特論 研究者倫理 情報・制御工学輪講 I 情報・制御工学輪講 I
		池田 隆明
車	≯ +□	<令和4年4月> 博士(工学)
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	教授	研究者倫理 災害軽減・復興システム学特論 社会環境・生物機能工学輪講 I 社会環境・生物機能工学輪講 II

専任・		丘夕
兼担•		氏 名 (年 齢)
兼任		
の別	職名	へ続任(アル) キ月ン 保有学位等
		体有子位等
		担当授業科目名
		岩橋 政宏
		<令和4年4月>
	٠, ١٠٠	博士(工学)
専	教授	研究者倫理
		研え有冊理 情報・制御工学輪講 I
		情報・制御工学輪講Ⅱ
		情報
—		
1		伊藤 嘉浩
1		ZA101515
		<令和4年4月>
専	教授	博士(経営学)
4	拟汉	経営戦略特論
		研究者倫理
		情報·制御工学輪講 I
		情報・制御工学輪講Ⅱ
		前川 博史
		前川 诗文
		<令和4年4月>
		博士(工学)
専	教授	
		研究者倫理
		材料工学輪講 I 材料工学輪講 II
		材料工字輪頭□ 精密分子設計特論Ⅱ
		有在刀」及可有册立
		下村 匠
		100-15-15-5
		<令和4年4月>
車	教授	博士(工学)
,	7/17	研究者倫理
		社会環境・生物機能工学輪講I
1		社会環境・生物機能工学輪講Ⅱ
L		複合材料・構造学特論
		政井 英司
1		
	+/_ 155	<令和4年4月>
1 +		博士(農学)
専	教授	研究者倫理
		社会環境・生物機能工学輪講 I
		社会環境・生物機能工学輪講Ⅱ
		微生物機能利用工学特論
1		_
1		河原 成元
1		<令和4年4月>
		博士(工学)
専	教授	
		研究者倫理
1		材料工学輪講Ⅰ
1		材料工学輪講Ⅱ 有機機能材料工学特論
<u> </u>		TH 1成1成 RE171 不补上于 付 調
1		上村 靖司
1		
		<令和4年4月>
専	教授	博士(工学)
守	教授	研究者倫理
		社会環境・生物機能工学輪講I
1		社会環境・生物機能工学輪講Ⅱ
1		防災安全・災害復興学特論
		l

声/1	ı	T
専任・ 兼担・ 別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
		山形 浩史
專	教授	<令和4年4月> 博士(工学)
	30.00	研究者倫理 情報・制御工学輪講 I 情報・制御工学輪講 I
		岩橋 政宏
専	教授	<令和4年4月> 博士(工学)
4	4X1X	研究者倫理 情報・制御工学輪講 I 情報・制御工学輪講 I 情報回路工学特論
		伊藤 嘉浩
専	教授	<令和4年4月> 博士(経営学)
9	我按	経営戦略特論
		研究者倫理 情報・制御工学輪講 I 情報・制御工学輪講 II
		前川 博史
専	教授	<令和4年4月> 博士(工学)
4		研究者倫理 材料工学輪講 I 材料工学輪講 I 精密分子設計特論 I
		下村 匠
専	教授	<令和4年4月> 博士(工学)
#	教技	研究者倫理 社会環境・生物機能工学輪講 I 社会環境・生物機能工学輪講 I 複合材料・構造学特論
		政井 英司
専	教授	<令和4年4月> 博士(農学)
	73.13	研究者倫理 社会環境・生物機能工学輪講 I 社会環境・生物機能工学輪講 I 微生物機能利用工学特論
		河原 成元
専	教授	<令和4年4月> 博士(工学)
4		研究者倫理 材料工学輪講 I 材料工学輪講 I 有機機能材料工学特論
		上村 靖司
専	#L1==	<令和4年4月> 博士(工学)
- 11	教授	研究者倫理 社会環境・生物機能工学輸講 I 社会環境・生物機能工学輸講 I 防災安全・災害復興学特論

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
		石橋 隆幸
専	教授	博士(工学) 機能性無機材料工学特論※
		研究者倫理 材料工学輪講 I 材料工学輪講 II
		三浦 友史
車	#44m	<令和4年4月> 博士(工学)
· 中	教授	エネルギー工学輪講 I エネルギー工学輪講 I 研究者倫理
		鈴木 達也
専	教授	<令和4年4月> 博士(工学)
	教技	エネルギー工学輪講 I エネルギー工学輪講 I 応用核化学 研究者倫理
	教授	綿引 宣道
車		<令和4年4月> 博士(経営学)
		研究者倫理 情報・制御工学輪講 I 情報・制御工学輪講 I 人間・社会・産業情報学特論※
		南口 誠
専	教授	<令和4年4月> 博士(工学)
₹ 	教 按	研究者倫理 材料工学輸講 I 材料工学輸講 I 先端材料創製工学特論
		木村 宗弘
専	教授	<令和4年4月> 博士(工学)
		研究者倫理 光デバイス工学特論 材料工学輸講 I 材料工学輸講 I
		今久保 達郎
専	教授	<令和4年4月> 博士(理学)
	XIVE	研究者倫理 材料工学輪講 I 材料工学輪講 I 有機固体化学特論
		豊田 浩史
専	教授	<令和4年4月> 博士(工学)
72'		研究者倫理 社会環境・生物機能工学輪講 I 社会環境・生物機能工学輪講 I 地圏工学特論

声圧	1	
専任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名
		1 1
専	教授	石橋 隆幸 <令和4年4月> 博士(工学)
4	4X1X	機能性無機材料工学特論※ 研究者倫理 材料工学輪講 I 材料工学輪講 II
		三浦 友史
		< 令和4年4月 > 博士 (工学)
専	教授	エネルギー工学輪講 I エネルギー工学輪講 I 研究者倫理 パワーエレクトロニクス・メカ トロニクス工学特論
		トロニクス工学特調
		鈴木 達也
専	教授	<令和4年4月> 博士(工学)
		エネルギー工学輪講 I エネルギー工学輪講 I 応用核化学 研究者倫理
		綿引 宣道
専	教授	<令和4年4月> 博士(経営学)
- 1		研究者倫理 情報・制御工学輪講 I 情報・制御工学輪講 I 人間・社会・産業情報学特論※
		南口 誠
専	教授	<令和4年4月> 博士(工学)
4		研究者倫理 材料工学輪講 I 材料工学輪講 I 先端材料創製工学特論
		木村 宗弘
専	教授	<令和4年4月> 博士(工学)
	72.12	研究者倫理 光デバイス工学特論 材料工学輪講 I 材料工学輪講 II
		今久保 達郎
専	教授	<令和4年4月> 博士(理学)
	双 按	研究者倫理 材料工学輪講 I 材料工学輪講 I 有機固体化学特論
		豊田 浩史
専	教授	<令和4年4月> 博士(工学)
, ·		研究者倫理 社会環境・生物機能工学輪講 I 社会環境・生物機能工学輪講 I 地圏工学特論

専任・ 兼担・ か別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
		木村 哲也
専	准教	<令和4年4月> 博士(工学)
等	授	システム制御工学特論 研究者倫理 情報・制御工学輪講 I
		情報・制御工学輪講Ⅱ
		機部 浩已
専	教授	<令和4年4月> 博士(工学)
		研究者倫理 情報・制御工学輪講 I 情報・制御工学輪講 I 超精密加工工学特論
		宮下 幸雄
±	***	<令和4年4月> 博士(工学)
専	教授	研究者倫理 材料工学輪講 I 材料工学輪講 I 破壊予測工学特論
		高橋 祥司
		<令和4年4月> 博士(工学)
専	教授	環境応用生化学特論 研究者倫理 社会環境・生物機能工学輸講 I 社会環境・生物機能工学輸講 I
		加藤 有行
	<u>·</u> 准教 授	 <令和4年4月> 博士(理学)
専		研究者倫理 情報・制御工学輪講 I 情報・制御工学輪講 I 非線形光学特論
		宮崎 敏昌
		<令和4年4月> 博士(工学)
専	教授	エネルギー工学輸講 I エネルギー工学輸講 I パワーエレクトロニクス・メカトロニクス工学特論 研究者倫理
		野村 収作
_	教授	<令和4年4月> 博士(理学)
専		研究者倫理 情報・制御工学輪講 I 情報・制御工学輪講 II 生体医工学特論
		田中 久仁彦
	准教	<令和4年4月> 博士(工学)
専	授	研究者倫理 情報・制御工学輪講 I 情報・制御工学輪講 I 非線形光学特論
-	•	

= /-		
専任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) (末 (年 年) (日 年) (日 年) (日 年) (日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日
		近当这条行石石
		木村 哲也
専	教授	システム制御工学特論 研究者倫理 情報・制御工学輪講 I 情報・制御工学輪講 I
		機部 浩已
専	教授	<令和4年4月> 博士(工学)
		研究者倫理 情報・制御工学輪講 I 情報・制御工学輪講 I 超精密加工工学特論
		宮下 幸雄
車	47.1四	博士(工学)
· 中	教授	研究者倫理 材料工学輸講 I 材料工学輸講 I 破壊予測工学特論
		高橋 祥司
専	教授	<令和4年4月> 博士(工学)
	· 秋文	環境応用生化学特論 研究者倫理 社会環境・生物機能工学輪講Ⅰ 社会環境・生物機能工学輪講Ⅱ
		加藤 有行
専	教授	博士(理学) 研究者倫理
		情報・制御工学輪講 I 情報・制御工学輪講 I 非線形光学特論
		宮崎・敏昌
	+/ I-	<令和4年4月> 博士(工学)
専	教授	エネルギー工学輪講 I エネルギー工学輪講 I パワーエレクトロニクス・メカ トロニクス工学特論 研究者倫理
-		野村 収作
		マラス (1977) マス
専	教授	研究者倫理 情報・制御工学輪講 I 情報・制御工学輪講 I 生体医工学特論
		田中 久仁彦
車	数 +亚	<令和4年4月> 博士(工学)
中	教授	研究者倫理 情報・制御工学輪講 I 情報・制御工学輪講 I 非線形光学特論

専任・		т. д
兼担•		氏 名
兼任		(年齢)
の別	職名	<就任(予定)年月>
****	7190 11	保有学位等
		担当授業科目名
		坪根 正
		<令和4年4月>
車	准教	博士(工学)
4	授	研究者倫理
		情報・制御工学輪講 I
		情報・制御工学輪講Ⅱ
		非線形システム設計特論
		回光加坡
		圓道 知博
		<令和4年4月>
	.,, .,,	博士(工学)
車	准教	(中工 (工子)
_	授	研究者倫理
		情報・制御工学輪講 I
		情報・制御工学輪講Ⅱ
		信号画像処理特論
		羽山 徹彩
1		11 IBAY
		<令和4年4月>
	准教	博士(知識科学)
専	授	TT
	,^	研究者倫理
		社会情報学特論※ 情報・制御工学輪講 I
		情報・制御工学輪講Ⅱ 情報・制御工学輪講Ⅱ
		内田 希
		4 A TO 4 TO 5
		<令和4年4月>
車	准教	博士(理学)
-7	授	研究者倫理
		材料工学輪講I
		材料工学輪講Ⅱ
		無機構造材料工学特論
		伊藤 治彦
		<令和4年4月>
	准教	博士(理学)
専	授	研究者倫理
		初先有冊壁 材料工学輪講 I
		材料工学輪講Ⅱ
		材料物性学特論
—		
1		小松 俊哉
1		<令和4年4月>
1	\#±∟	博士(工学)
専	准教 授	
1	17	環境システム工学特論
1		研究者倫理
		社会環境・生物機能工学輪講 I 社会環境・生物機能工学輪講 II
		在
1		
1		
1		
1		
1		
1		
1		
<u></u>		
		髙原 美規
		<令和4年4月>
車	准教	農学博士
守	授	研究者倫理
		社会環境・生物機能工学輪講Ⅰ
1		社会環境・生物機能工学輪講Ⅱ
1		植物統合工学特論
		1

+ /-		
専任・ 兼担・ か別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
		坪根 正
専	教授	<令和4年4月> 博士(工学)
	37.32	研究者倫理 情報・制御工学輪講 I 情報・制御工学輪講 I 非線形システム設計特論
		圓道 知博
+	44. 140	<令和4年4月> 博士(工学)
専	教授	研究者倫理 情報・制御工学輪講 I 情報・制御工学輪講 I 信号画像処理特論
		羽山 徹彩
専	教授	<令和4年4月> 博士(知識科学)
₩ 	教授	研究者倫理 社会情報学特論※ 情報・制御工学輪講 I 情報・制御工学輪講 I
		内田 希
	准教 授	<令和4年4月> 博士(理学)
専		研究者倫理 材料工学輪講 I 材料工学輪講 I 無機構造材料工学特論
		伊藤 治彦
+	准教	<令和4年4月> 博士(理学)
専	授	研究者倫理 材料工学輸講 I 材料工学輸講 I 材料物性学特論
		小松 俊哉
専	准教 授	<令和4年4月> 博士(工学)
,,		環境システム工学特論 研究者倫理 社会環境・生物機能工学輪講 I 社会環境・生物機能工学輪講 I
		北條 理恵子
	准教	<令和4年4月> 博士(獣医)
4	授	情報・制御工学輪講 I 情報・制御工学輪講 I 研究者倫理
		髙原 美規
声	准教 授	<令和4年4月> 農学博士
専		研究者倫理 社会環境・生物機能工学輪講 I 社会環境・生物機能工学輪講 I 植物統合工学特論

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
_	准教	木村 悟隆 <令和4年4月> 博士(工学)
専	授	研究者倫理 材料工学輪講 I 材料工学輪講 II
		熊倉 俊郎
専	准教	<令和4年4月> 博士(工学)
,	授	研究者倫理 社会環境・生物機能工学輪講Ⅰ 社会環境・生物機能工学輪講Ⅱ 水圏工学特論
		犬飼 直之
専	准教	<令和4年4月> 博士(工学)
•	授	研究者倫理 社会環境・生物機能工学輪講Ⅰ 社会環境・生物機能工学輪講Ⅱ 水圏工学特論
	准教 授	霜田 靖
車		<令和4年4月> 博士(理学)
,		研究者倫理 社会環境・生物機能工学輪講 I 社会環境・生物機能工学輪講 Ⅲ 神経機能制御学
		佐藤 武史
車	准教	<令和4年4月> 博士(薬学)
ř	授	研究者倫理 社会環境・生物機能工学輪講 I 社会環境・生物機能工学輪講 Ⅲ 糖鎖生命工学特論
		鈴木 正太郎
車	准教	<令和4年4月> 博士(工学)
7	授	エネルギー工学輪講 I エネルギー工学輪講 I 研究者倫理 熱エネルギー工学特論
		岡元 智一郎
専	准教	<令和4年4月> 博士(工学)
	授	エレクトロセラミックス工学特論 研究者倫理 材料工学輪講 I 材料工学輪講 I
		中平(田中) 勝子
声	准教	<令和4年4月> 博士(工学)
専	授	研究者倫理 情報・制御工学輪講 I 情報・制御工学輪講 I
ı	1	1

+ /-		
専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
		木村 悟隆
専	准教	<令和4年4月> 博士(工学)
47	授	研究者倫理 材料工学輸講 I 材料工学輸講 II
		熊倉 俊郎
	准教	<令和4年4月> 博士(工学)
専	授	研究者倫理 社会環境・生物機能工学輪講 I 社会環境・生物機能工学輪講 I 水圏工学特論
		犬飼 直之
	准教	<令和4年4月> 博士(工学)
専	授	
		社会環境・生物機能工学輪講 I 社会環境・生物機能工学輪講 I 水圏工学特論
	准教 授	霜田 靖
_		<令和4年4月> 博士(理学)
専		研究者倫理 社会環境・生物機能工学輪講 I 社会環境・生物機能工学輪講 I 神経機能制御学
		佐藤 武史
	准教	<令和4年4月> 博士(薬学)
専	授	研究者倫理 社会環境・生物機能工学輪講 I 社会環境・生物機能工学輪講 I 糖鎖生命工学特論
		鈴木 正太郎
*	准教 授	<令和4年4月> 博士(工学)
専		エネルギー工学輪講 I エネルギー工学輪講 I 研究者倫理 熱エネルギー工学特論
		岡元 智一郎
	\fr +11	< 令和4年4月> 博士(工学)
専	准教 授	エレクトロセラミックス工学特論 研究者倫理
		がえるには 材料工学輪講 I 材料工学輪講 II
		中平(田中) 勝子
_	准教	<令和4年4月> 博士(工学)
専	授	研究者倫理 情報・制御工学輪講 I 情報・制御工学輪講 I 人間・社会・産業情報学特論
L		l .

専任・ 兼担・ 乗り の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
		髙橋 一義
+	准教	<令和4年4月> 博士(工学)
専	授	研究者倫理 社会環境・生物機能工学輪講 I 社会環境・生物機能工学輪講 I 地球環境計測工学特論
		小林 泰秀
	准教	<令和4年4月> 博士(工学)
専	授	エネルギー工学輪講 I エネルギー工学輪講 I 研究者倫理
		鈴木 常生
	准教	<令和4年4月> 博士(工学)
専	授	エネルギー工学輪講Ⅰ
		エネルギー工学輪講 II 研究者倫理
	准教授	髙橋 由紀子
		<令和4年4月> 博士(工学)
専		機能材料工学特論 研究者倫理 材料工学輸講 I 材料工学輸講 I
		山本 麻希
	准教 授	<令和4年4月> 博士(理学)
専		研究者倫理 社会環境・生物機能工学輪講 I 社会環境・生物機能工学輪講 I 社会環境・生物機能工学輪講 I 野生動物管理工学特論
		齊藤 信雄
+	准教	<令和4年4月> 博士(工学)
専	授	エネルギー工学輪講 I エネルギー工学輪講 II 研究者倫理
		大場 恭子
+	准教	<令和4年4月> 政策・メディア修士
専	授	エネルギー工学輪講 I エネルギー工学輪講 I 研究者倫理
		西村 泰介
	准教	<令和4年4月> 博士(理学)
専	准教 授 	研究者倫理 社会環境・生物機能工学輪講 I 社会環境・生物機能工学輪講 I 植物遺伝子工学特論
	•	•

専任・	1	Г
兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
		高橋 一義 <令和4年4月>
専	准教 授	博士(工学) 研究者倫理
		社会環境・生物機能工学輪講 I 社会環境・生物機能工学輪講 I 地球環境計測工学特論
		小林 泰秀
専	准教	<令和4年4月> 博士(工学)
	授	エネルギー工学輪講 I エネルギー工学輪講 I 研究者倫理 エネルギー変換・制御工学特論
		鈴木 常生
	准教	<令和4年4月> 博士(工学)
専	授	エネルギー工学輪講 I エネルギー工学輪講 I
		エネルギー工学輪講 I 研究者倫理
		髙橋 由紀子
_	准教 授	<令和4年4月> 博士(工学)
専		機能材料工学特論 研究者倫理 材料工学輪講 I
		材料工学輪講Ⅱ
	准教 授	山本 麻希
l _		< 令和4年4月> 博士(理学)
専		研究者倫理 社会環境・生物機能工学輸講 I 社会環境・生物機能工学輸講 I 野生動物管理工学特論
		齊藤 信雄
専	准教 授	<令和4年4月> 博士(工学)
4		エネルギー工学輪講Ⅰ エネルギー工学輪講Ⅱ 研究者倫理
		大場 恭子
車	准教 授	<令和4年4月> 政策・メディア修士
- 1		エネルギー工学輪講 I エネルギー工学輪講 I 研究者倫理
		西村 泰介
車	准教 授	<令和4年4月> 博士(理学)
甲		研究者倫理 社会環境・生物機能工学輪講 I 社会環境・生物機能工学輪講 I 植物遺伝子工学特論
		i

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
		菊池 崇志
専	准教	<令和4年4月> 博士(工学)
4	授 	エネルギー工学輪講 I エネルギー工学輪講 I プラズマ・核融合工学特論 研究者倫理
		芳賀 仁
専	准教	<令和4年4月> 博士(工学)
4	授	エネルギー工学輪講 I エネルギー工学輪講 I エネルギー変換・制御工学特論 研究者倫理
	准教 授	鈴木 信貴
専		<令和4年4月> 博士(経済学)
4		研究者倫理 情報・制御工学輪講 I 情報・制御工学輪講 I 人間・社会・産業情報学特論※
		會田 英雄
専	准教 授	<令和4年4月> 博士(工学)
4		結晶工学特論 研究者倫理 材料工学輪講 I 材料工学輪講 I
		宮下 剛
専	准教 授	<令和4年4月> 博士(工学)
,		研究者倫理 社会環境・生物機能工学輪講Ⅰ 社会環境・生物機能工学輪講Ⅱ 複合材料・構造学特論
		藤原 郁子
専	准教 授	<令和4年4月> 博士(理学)
		研究者倫理 社会環境・生物機能工学輪講 I 社会環境・生物機能工学輪講 II
		船津 麻美
専	准教 授	<令和4年4月> 博士(工学)
界		研究者倫理 材料工学輸講 I 材料工学輸講 II
	•	•

専任・		T
兼担・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
		志田 洋介
專	准教	<令和4年4月> 博士(工学)
	授	社会環境 - 生物機能工学輸講 I 社会環境 - 生物機能工学輸講 I 研究者倫理
		菊池 崇志
専	准教	<令和4年4月> 博士(工学)
\ \	授	エネルギー工学輪講 I エネルギー工学輪講 I プラズマ・核融合工学特論 研究者倫理
		芳賀 仁
専	准教	<令和4年4月> 博士(工学)
4	授	エネルギー工学輪講 I エネルギー工学輪講 I エネルギー変換・制御工学特論 研究者倫理
	准教 授	鈴木 信貴
専		<令和4年4月> 博士(経済学)
4		研究者倫理 情報・制御工学輪講 I 情報・制御工学輪講 I 人間・社会・産業情報学特論※
		會田 英雄
専	准教 授	<令和4年4月> 博士(工学)
4		結晶工学特論 研究者倫理 材料工学輪講 I 材料工学輪講 I
		宮下 剛
車	准教 授	<令和4年4月> 博士(工学)
,		研究者倫理 社会環境・生物機能工学輪講 I 社会環境・生物機能工学輪講 I 複合材料・構造学特論
		藤原 郁子
専	准教 授	<令和4年4月> 博士(理学)
		研究者倫理 社会環境・生物機能工学輪講 I 社会環境・生物機能工学輪講 II
		船津 麻美
車	准教 授	<令和4年4月> 博士(工学)
1		研究者倫理 材料工学輸講 I 材料工学輸講 II

専任・ 兼担・ 兼任		氏 名 (年 齢)
の別	職名	<就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
		本間 剛
専	准教	<令和4年4月> 博士(工学)
4	授 	エネルギー工学輪講 I エネルギー工学輪講 I 環境発電セラミック材料工学特論 研究者倫理
		鵜沼 毅也
専	准教	<令和4年4月> 博士(理学)
1	授	研究者倫理 情報・制御工学輪講 I 情報・制御工学輪講 I 非線形光学特論
		松川 寿也
専	准教	<令和4年4月> 博士(工学)
—————————————————————————————————————	授	研究者倫理 国土総合計画学特論 社会環境・生物機能工学輪講 I 社会環境・生物機能工学輪講 I
	准教 授	太田 朋子
		<令和4年4月> 博士(工学)
専		エネルギー工学輪講 I エネルギー工学輪講 I 環境放射能特論 研究者倫理
		倉橋 貴彦
=	准教 授	<令和4年4月> 博士(工学)
専		研究者倫理 情報・制御工学輪講 I 情報・制御工学輪講 I 有限要素解析特論
		杉田 泰則
専	准教 授	<令和4年4月> 博士(工学)
7		研究者倫理 情報・制御工学輪講 I 情報・制御工学輪講 I 信号画像処理特論
		張 坤
専	准教 授	<令和4年4月> 博士(工学)
		データマネジメント特論 研究者倫理 情報・制御工学輪講 I 情報・制御工学輪講 I
		本間 智之
事	准教	<令和4年4月> 博士(工学)
専	授	回折物理学特論【隔年】 研究者倫理 材料工学輪講 I 材料工学輸講 I
]	177 イギユー丁=

また	1	
専任・ 兼担・ か別	職名	氏 名 (年 齢) (末 (年) 年月> (年) 年月> (年) 年月字位等 (日) 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日
		本間 剛
専	准教	<令和4年4月> 博士(工学)
	授	エネルギー工学輪講 I エネルギー工学輪講 I 環境発電セラミック材料工学特論 研究者倫理
		鵜沼 毅也
	准 数	<令和4年4月> 博士(理学)
専	准教 授	研究者倫理 情報・制御工学輪講 I 情報・制御工学輪講 I 非線形光学特論
		松川 寿也
	准教	<令和4年4月> 博士(工学)
専	授	研究者倫理
		国土総合計画学特論 社会環境・生物機能工学輪講 I 社会環境・生物機能工学輪講 II
	准教 授	太田 朋子
		く令和4年4月> 博士(工学)
専		 エネルギーエ学輪講 I エネルギーエ学輪講 II
		環境放射能特論 研究者倫理
		倉橋 貴彦
_	准教	<令和4年4月> 博士(工学)
専	授	研究者倫理 情報・制御工学輪講 I 情報・制御工学輪講 I 有限要素解析特論
		杉田 泰則
専	准教 授	<令和4年4月> 博士(工学)
च		研究者倫理 情報・制御工学輪講 I 情報・制御工学輪講 I 信号画像処理特論
		張坤
専	准教 授	<令和4年4月> 博士(工学)
4		データマネジメント特論 研究者倫理 情報・制御工学輪講 I
		情報・制御工学輪講Ⅱ 本間 智之
		<令和4年4月>
専	准教 授	博士(工学) 回折物理学特論【隔年】
	IX	四折物理字符誦【隔年】 研究者倫理 材料工学輪講 I 材料工学輪講 II
	l	İ

専任・		丘夕
兼担•		氏 名 (年 齢)
兼任		<就任(予定)年月>
の別	職名	保有学位等
		pr. 13 3 1— 3
		担当授業科目名
		笠井 大輔
		/会和4年4日丶
	.,, .,,	< 令和4年4月> 博士(工学)
専	准教 授	
	按	遺伝子工学特論
		研究者倫理
		社会環境・生物機能工学輪講 I 社会環境・生物機能工学輪講 II
<u> </u>		
1		松田(上米良) 曜子
1		/A11/5/5>
1		< 令和4年4月> 博士(工学)
専	准教	
_	授	研究者倫理
		災害軽減・復興システム学特論
		社会環境・生物機能工学輪講 I 社会環境・生物機能工学輪講 Ⅱ
		社会環境・主物機能工子無調Ⅱ
		中村 文則
	\(\frac{1}{2} \rightarrow \frac{1}{2} \rightarrow \fra	2.0.10.4.5.4.E.S
		< 令和4年4月> 博士 (工学)
専	准教	侍工 (工子)
	授	研究者倫理
		社会環境・牛物機能工学輪講 I
		社会環境・生物機能工学輪講Ⅱ
		白川 智弘
		<令和4年4月>
	`#+ # /-	博士(理学)
専	准教 授	13=(=1)
	12	研究者倫理
		情報・制御工学輪講 I
1		情報・制御工学輪講Ⅱ
\vdash		ᄼ ᄱᄊ 甘브
1		多賀谷 基博
1		<令和4年4月>
1	准教	博士(工学)
専	准教 授	 エネルギー工学輪講 I
		エネルギーエ子輪講Ⅱ エネルギー工学輪講Ⅱ
		研究者倫理
1		生体材料工学特論
		大塚 雄市
1		△冰 雁巾
1		<令和4年4月>
1 _	准教	博士(工学)
専	授	研究者倫理
		明元日
1		材料工学輪講 I
1		材料工学輪講Ⅱ
		桑原 敬司
1		木/尔 以旦
1		<令和4年4月>
	准教	博士(工学)
専	授	研究者倫理
1		社会環境・生物機能工学輪講 I
1		社会環境・生物機能工学輪講Ⅱ
1		生物材料応用工学特論
		•

また	1	I
専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
		章冬
直	准教	<令和4年4月> 博士(工学)
	授	情報・制御工学輪講 I 情報・制御工学輪講 I 研究者倫理
		笠井 大輔
	<i>\H</i> #/ ₊	 <令和4年4月> 博士(工学)
専	准教 授	遺伝子工学特論
		研究者倫理
		社会環境・生物機能工学輪講 I 社会環境・生物機能工学輪講 II
		松田(上米良) 曜子
		 <令和4年4月>
専	准教	博士(工学)
`	授	研究者倫理 災害軽減・復興システム学特論
		社会環境・生物機能工学輪講Ⅰ
		社会環境・生物機能工学輪講Ⅱ
		中村 文則
	准教 授	<令和4年4月> 博士(工学)
専		一 诗工 (工子)
		研究者倫理 社会環境・生物機能工学輪講 I
		社会環境・生物機能工学輪講Ⅱ
		白川 智弘
	<i>₩</i> ₩.	<令和4年4月> 博士(理学)
専	准教 授	研究者倫理
		情報・制御工学輪講 I
		情報・制御工学輪講Ⅱ 人間・社会・産業情報学特論
		多賀谷 基博
		<令和4年4月>
車	准教	博士(工学)
~	授	エネルギー工学輪講 I エネルギー工学輪講 II
		研究者倫理
		生体材料工学特論
		大塚雄市
	准教	< 令和4年4月> 博士(工学)
専	授	研究者倫理
		構造安全設計特論 材料工学輪講 I
L		材料工学輪講Ⅱ
		桑原 敬司
		<令和4年4月>
専	准教	博士(工学)
	授	研究者倫理 社会環境・生物機能工学輪講 I
		社会環境・生物機能工学輪講Ⅱ 生物材料応用工学特論
Ц	l	ᅩᄁᇬᇬᄼᆉᄱᄼ꼬ᅷᆟᄚᆖ

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
		秋元 頼孝
		<令和4年4月> 博士(情報科学)
専	准教 授	研究者倫理 社会環境・生物機能工学輪講 I 社会環境・生物機能工学輪講 II
		勝身 俊之
専	准教	<令和4年4月> 博士(工学)
7	授	エネルギー工学輪講 I エネルギー工学輪講 I 研究者倫理
		野中 尋史
車	准教	<令和4年4月> 博士(工学)
	授	研究者倫理 社会情報学特論※ 情報・制御工学輪講 I 情報・制御工学輪講 II
	准教 授	西川(多賀谷) 雅美
専		<令和4年4月> 博士(工学)
4		機能性無機材料工学特論※ 研究者倫理 材料工学輪講 I 材料工学輪講 I
		幡本 将史
	准教 授	<令和4年4月> 博士(工学)
専		環境システム工学特論 研究者倫理 社会環境・生物機能工学輪講 I 社会環境・生物機能工学輪講 I
		真田 亜紀子
専	准教	<令和4年4月> Doctor of Philosophy (Mathematics) (カナダ・)
	授	研究者倫理 情報・制御工学輪講 I 情報・制御工学輪講 II
		大橋 智志
専	准教	<令和4年4月> 博士(工学)
4	授	研究者倫理 情報・制御工学輪講 I 情報・制御工学輪講 II

専任・		氏 名
兼担•		(年齢)
兼任	TIAL (-	<就任(予定)年月>
の別	職名	保有学位等
		担当授業科目名
		秋元 頼孝
		<令和4年4月>
		博士(情報科学)
	准教	TT
専	授	研究者倫理 社会環境・生物機能工学輪講 I
		社会環境・生物機能工学輪講工
		生体医工学特論
		情報・制御工学輪講 I 情報・制御工学輪講 II
		111 TA 193 PT - 3 THE RES TO
		原畫祐
		<令和4年4月>
	准教	博士(工学)
専	授	11.1u — 34.4A 5# =
		材料工学輪講 I 材料工学輪講 II
		研究者倫理
		마 수 사고
		勝身 俊之
		<令和4年4月>
車	准教	博士(工学)
4	授	 エネルギーT学齢譜 ⊺
		エネルギー工学輪講 I エネルギー工学輪講 II
		研究者倫理
		西川(多賀谷) 雅美
		/ A TRAFT A ELS
	准教	< 令和4年4月> 博士(工学)
専	/ 准教 授	機能性無機材料工学特論※
		研究者倫理
		材料工学輪講I
		材料工学輪講Ⅱ
		幡本将史
		<令和4年4月>
専	准教	博士(工学)
→	授	環境システム工学特論
		研究者倫理 社会環境・生物機能工学輪講 I
		社会環境・生物機能工学輪講Ⅱ
I		長田 平知子
I		真田 亜紀 子
		奥田 亜和丁 <令和4年4月> Doctor of Philosophy
専	准教	<令和4年4月>
専	准教 授	<令和4年4月> Doctor of Philosophy (Mathematics) (かり)
専		<令和4年4月> Doctor of Philosophy (Mathematics) (かり) 研究者倫理 情報・制御工学輪講 I
専		<令和4年4月> Doctor of Philosophy (Mathematics) (かり)
專		<令和4年4月> Doctor of Philosophy (Mathematics) (カナタ*) 研究者倫理 情報・制御工学輪講 I 情報・制御工学輪講 I
専		<令和4年4月> Doctor of Philosophy (Mathematics) (カナダ・) 研究者倫理 情報・制御工学輪講 I 情報・制御工学輪講 I 情報数理応用工学特論 大橋 智志
専	授	<令和4年4月> Doctor of Philosophy (Mathematics) (カナダ・) 研究者倫理 情報・制御工学輪講 I 情報・制御工学輪講 I 情報数理応用工学特論 大橋 智志 <令和4年4月>
事 事	授	<令和4年4月> Doctor of Philosophy (Mathematics) (カナタ*) 研究者倫理 情報・制御工学輪講 I 情報数理応用工学特論 大橋 智志 <令和4年4月> 博士(工学)
	授	<
	授	<令和4年4月> Doctor of Philosophy (Mathematics) (カナケ・) 研究者倫理 情報・制御工学輪講 I 情報数理応用工学特論 大橋 智志 <令和4年4月> 博士(工学) 研究者倫理 情報・制御工学輪講 I 情報・制御工学輪講 I 情報・制御工学輪講 I
	授	< 令和4年4月 > Doctor of Philosophy (Mathematics) (カナタ・) 研究者倫理 情報・制御工学輪講 I 情報・制御工学輪講 I 情報数理応用工学特論 大橋 智志 < 令和4年4月 > 博士(工学) 研究者倫理 情報・制御工学輪講 I

専任・		氏 名
兼担•		氏 名 (年 齢)
兼任		<就任(予定)年月>
の別	職名	保有学位等
		担当授業科目名
		南部 功夫
		田郎 多久
		<令和4年4月>
専	准教	博士(工学)
77	授	研究者倫理
		情報・制御工学輪講Ⅰ
		情報・制御工学輪講Ⅱ 脳・生体情報工学特論
		佐々木 友之
		<令和4年4月>
	准教	博士(工学)
専	授	研究者倫理
		材料工学輪講 I
		材料工学輪講Ⅱ
		電磁波・光波制御工学特論
		玉山 泰宏
		< 令和4年4月>
	准教	博士(工学)
専	授	研究者倫理
		材料工学輪講Ⅱ
		電磁波・光波制御工学特論
		西山 雄大
		∠ △ ₹⊓4 左 4₽∖
		< 令和4年4月> 博士(理学)
専	講師	
		研究者倫理 社会情報学特論※
		情報·制御工学輪講 I
		情報・制御工学輪講Ⅱ
L		
		白仁田(稲川) 沙代子
	4 μ ±0	< 令和4年4月> 博士(工学)
専	准教 授	., ,
	174	エネルギー工学輪講 I エネルギー工学輪講 II
		研究者倫理
		電気化学エネルギー工学特論
		山本 謙一郎
		, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,
	Jr. 3	< 令和4年4月> 博士(理学)
専	准教	
	授	研究者倫理 情報・制御工学輪講 I
		情報・制御工字輪講Ⅱ 情報・制御工学輪講Ⅱ
		情報数理応用工学特論
		<令和4年4月>
専	准教	博士(工学)
"	授	レーザ加工学特論
		研究者倫理 材料工学輪講 I
		材料工学輪講Ⅱ
L	l	

+ 1-		
専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名
		南部 功夫 < 令和4年4月 > 博士(工学)
専	准教 授	研究者倫理 情報・制御工学輪講 I 情報・制御工学輪講 I 脳・生体情報工学特論
		佐々木 友之
専	准教	<令和4年4月> 博士(工学)
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	授	研究者倫理 材料工学輪講 I 材料工学輪講 I 電磁波·光波制御工学特論
		玉山 泰宏
専	准教	<令和4年4月> 博士(工学)
\ \	授	研究者倫理 材料工学輪講 I 材料工学輪講 I 電磁波·光波制御工学特論
	准教授	西山 雄大
専		<令和4年4月> 博士(理学)
7		研究者倫理 社会情報学特論※ 情報・制御工学輪講 I 情報・制御工学輪講Ⅱ
	准教 授	竹澤 宏樹
亩		<令和4年4月> 博士(工学)
		エネルギー工学輪講 I エネルギー工学輪講 I 研究者倫理
		白仁田(稲川) 沙代子
専	准教 授	<令和4年4月> 博士(工学)
		エネルギー工学輪講 I エネルギー工学輪講 I 研究者倫理 電気化学エネルギー工学特論
		山本 謙一郎
専	准教 授	<令和4年4月> 博士(理学)
4		研究者倫理 情報・制御工学輪講 I 情報・制御工学輪講 I 情報数理応用工学特論
		溝尻 瑞枝
専	准教	<令和4年4月> 博士(工学)
7	授	レーザ加工学特論 研究者倫理 材料工学輪講 I 材料工学輪講 I

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
		横倉 勇希
	准教	<令和4年4月> 博士(工学)
専	授	エネルギー工学輪講 I エネルギー工学輪講 I パワーエレクトロニクス・メカトロニクス工学特論 研究者倫理
		渡部 康平
専	准教	<令和4年4月> 博士(情報科学)
4	授	ネットワークシステム特論
		研究者倫理 情報・制御工学輪講 I 情報・制御工学輪講 II
		福元 豊
専	准教	<令和4年4月> 博士(農学)
,	授	応用地盤解析学特論 研究者倫理 社会環境・生物機能工学輪講 I 社会環境・生物機能工学輪講 I
		日高 勇気
専	准教	<令和4年4月> 博士(情報科学)
	授	エネルギー工学輪講 I エネルギー工学輪講 I 研究者倫理
		山下 智樹
専	准教	<令和4年4月> 博士(工学)
	授	計算材料科学特論 研究者倫理 材料工学輪講 I 材料工学輪講 II
		庄司 観
専	講師	<令和4年4月> 博士(工学)
-1		研究者倫理 材料工学輸講 I 材料工学輸講 I 分子ロボット工学特論

また	ı	1
専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
		上村 直史
	准教	<令和4年4月> 博士(工学)
	授	社会環境 · 生物機能工学輸講 I 社会環境 · 生物機能工学輸講 I 研究者倫理
		横倉 勇希
	₩ ₩	<令和4年4月> 博士(工学)
専	准教 授	エネルギー工学輪講 I エネルギー工学輪講 I パワーエレクトロニクス・メカ トロニクス工学特論 研究者倫理
		渡部 康平
車	准教	<令和4年4月> 博士(情報科学)
4	授	ネットワークシステム特論 研究者倫理
		情報・制御工学輪講 I 情報・制御工学輪講 I
	准教 授	福元豊
専		<令和4年4月> 博士(農学)
		応用地盤解析学特論 研究者倫理 社会環境・生物機能工学輪講 I
		社会環境・生物機能工学輪講Ⅱ 坂本 盛嗣
	准教 授	<令和4年4月> 博士(工学)
専		材料工学輪講 I 材料工学輪講 I 研究者倫理 電磁波・光波制御工学特論
		日高 勇気
車	准教	<令和4年4月> 博士(情報科学)
1	授	エネルギー工学輪講 I エネルギー工学輪講 I 研究者倫理
		エネルギー変換・制御工学特論
		山下 智樹 <令和4年4月>
専	准教	博士(工学)
,,	授	計算材料科学特論 研究者倫理 材料工学輸講 I
		材料工学輪講Ⅱ 庄司 観
	AL AR	< 令和4年4月> 博士(工学)
専	准教 授	研究者倫理
		材料工学輪講 I 材料工学輪講 I 分子ロボット工学特論

専任・		пр			
兼担•		氏 名 (年 齢)			
兼任	(年 齢) 、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、				
の別	職名	保有学位等			
		W H T I I I			
		担当授業科目名			
		担当技术符合名			
		中田 大貴			
		<令和4年4月>			
+	=# AT	博士(工学)			
専	講師				
		研究者倫理			
		材料工学輪講 I 材料工学輪講 II			
		藤原 健志			
		is in the control of			
		<令和4年4月>			
		博士(工学)			
専	講師				
		研究者倫理			
		材料工学輪講 I			
		材料工学輪講Ⅱ			
		藤澤 慶			
		2.0.10.4.5.4.E.S			
		<令和4年4月>			
		博士(環境学)			
専	講師				
		研究者倫理			
		材料工学輪講I			
		材料工学輪講Ⅱ			
		<u> </u>			
		₩ ₩ ₩			
		中川 匡弘			
		<令和4年4月>			
		博士(工学)			
34-15-	40 1-	.,,_,,			
兼担	教授	カオス・フラクタル情報数理工			
		学特論			
		研究者倫理			
		情報・制御工学輪講 I 情報・制御工学輪講 II			
		1月			
		小林 高臣			
		<令和4年4月>			
** †□	#1.1	博士(理学)			
兼担	教授	研究者倫理			
		材料工学輪講 I			
		材料工学輪講Ⅱ			
		持続可能環境材料工学特論			
		!			

専任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名
専	講師	中田 大貴 < 令和4年4月> 博士(工学)
		研究者倫理 材料工学輪講 I 材料工学輪講 II
		日下 佳祐
專	講師	博士(工学) エネルギー工学輪講 I エネルギー工学輪講 I 研究者倫理
		藤澤 慶
		<令和4年4月> 博士(環境学)
事 	講師	研究者倫理 材料工学輪講 I 材料工学輪講 I エネルギー工学輪講 I エネルギー工学輪講 I
		加藤 哲平 <令和4年4月>
	講師	博士(工学) 社会環境・生物機能工学輸講 I 社会環境・生物機能工学輸講 I 研究者倫理
		佐藤 大輔 <令和3年4月> 博士 (工学)
專	講師	エネルギー工学輪講 I エネルギー工学輪講 I 研究者倫理
		中川 匡弘
兼担	数 坪	<令和4年4月> 博士(工学)
NV 1	教授	カオス・フラクタル情報数理工 学特論 研究者倫理 情報・制御工学輪講 I 情報・制御工学輪講 I
		小林 高臣
兼担	教授	<令和4年4月> 博士(理学)
NV 1=	3×1×	研究者倫理 材料工学輪講 I 材料工学輪講 I 持続可能環境材料工学特論

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
		山口 隆司
兼担	教授	<令和4年4月> 博士(工学)
来担	我技	環境システム工学特論 研究者倫理 社会環境・生物機能工学輪講 I 社会環境・生物機能工学輪講 I
		小笠原 渉
** 10	#/L150	<令和4年4月> 博士(工学)
兼担 	教授	バイオリファイナリー研究開発 研究者倫理 社会環境・生物機能工学輪講Ⅰ 社会環境・生物機能工学輪講Ⅱ
		伊東淳一
** 10	#/L 150	<令和4年4月> 博士(工学)
兼担	教授	エネルギー工学輪講 I エネルギー工学輪講 I エネルギー変換・制御工学特論 研究者倫理
	教授	中山 忠親
兼担		<令和4年4月> 博士(工学)
N/I		ものづくりDXシステム特論 研究者倫理 材料工学輪講Ⅰ 材料工学輪講Ⅱ
		山田 昇
兼担	教授	<令和4年4月> 博士(工学)
**1=		エネルギー工学輪講 I エネルギー工学輪講 I 研究者倫理 熱エネルギー工学特論
		大沼清
		<令和4年4月> 博士(理学)
兼担	教授	幹細胞工学特論 研究者倫理 社会環境・生物機能工学輪講 I
		社会環境・生物機能工学輪講Ⅱ 牧 慎也
		<令和4年4月> 博士(工学)
兼担	教授	環境システム工学特論 研究者倫理 社会環境・生物機能工学輪講 I 社会環境・生物機能工学輪講 II
		田中諭
	准教	<令和4年4月> 博士(工学)
専	授	研究者倫理 材料工学輪講 I 材料工学輪講 I 無機構造材料工学特論
L	1	l

専任・		
兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
		山口 隆司
兼担	*	<令和4年4月> 博士(工学)
承担	教授	環境システム工学特論 研究者倫理 社会環境・生物機能工学輪講 I
		社会環境・生物機能工学輪講Ⅱ
		小笠原 渉
兼担	教授	<令和4年4月> 博士(工学)
NK1	7/12	バイオリファイナリー研究開発 研究者倫理
		社会環境・生物機能工学輪講 I 社会環境・生物機能工学輪講 II
		伊東淳一
兼担	教授	<令和4年4月> 博士(工学)
本担	拟区	エネルギー工学輪講 I エネルギー工学輪講 II
		エネルギー変換・制御工学特論 研究者倫理
		中山 忠親
兼担	₩ +₩	<令和4年4月> 博士(工学)
承担	教授	ものづくりDXシステム特論 研究者倫理 材料工学輪講 I
		材料工学輪講Ⅱ
		山田 昇
兼担	数垣	<令和4年4月> 博士(工学)
水坦	教授	エネルギー工学輪講 I エネルギー工学輪講 II
		研究者倫理 熱エネルギー工学特論
		大沼 清
	准教	<令和4年4月> 博士(理学)
兼担	授	幹細胞工学特論 研究者倫理
		社会環境・生物機能工学輪講 I 社会環境・生物機能工学輪講 I
		牧り慎也
**	准教	<令和4年4月> 博士(工学)
兼担	授	環境システム工学特論 研究者倫理
		がえる m 在 社会環境・生物機能工学輪講 I 社会環境・生物機能工学輪講 II
		田中 諭
** 15	准教 授	<令和4年4月> 博士(工学)
兼担		研究者倫理 材料工学輪講 I 材料工学輪講 II
		無機構造材料工学特論

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
		姫野 修司
兼担	准教	<令和4年4月> 博士(工学)
W1=	授	環境システム工学特論 研究者倫理 社会環境・生物機能工学輪講 I
		社会環境・生物機能工学輪講Ⅱ
		山﨑 渉
兼担	准教	<令和4年4月> 博士(工学)
米坦	授	エネルギー工学輪講 I エネルギー工学輪講 I
		研究者倫理 流体エネルギー工学特論
		佐々木 徹
		<令和4年4月> 博士(理学)
専	准教 授	エネルギー工学輪講 I エネルギー工学輪講 I
		研究者倫理 高エネルギー密度プラズマ物性 工学特論
		Noor Haida Binti Mohd Kaus
兼担	准教	<令和4年4月> Ph.D in Chemistry (イギリス)
兼担	授	研究者倫理 材料工学輪講 I 材料工学輪講 I
		村上 健太
*/T	使任 講師	<令和4年4月> 博士(工学)
米 世		原子力エネルギーマネジメント 特論
		エネルギー工学輪講 I エネルギー工学輪講 I

専任・ 兼担 の別	職名	氏 名 (年 齡) (就任 (予定) 年月> 保有学位等 担当授業科目名
兼担	准教	姫野 修司 <令和4年4月> 博士(工学)
本担	授	環境システム工学特論 研究者倫理 社会環境・生物機能工学輪講 I 社会環境・生物機能工学輪講 I
		山﨑 渉
兼担	准教	<令和4年4月> 博士(工学)
兼担	授	エネルギー工学輪講 I エネルギー工学輪講 I 研究者倫理 流体エネルギー工学特論
		佐々木 徹
	准教 授	<令和4年4月> 博士(理学)
兼担		エネルギー工学輪講 I エネルギー工学輪講 I 研究者倫理 高エネルギー密度プラズマ物性 工学特論
		Noor Haida Binti Mohd Kaus
兼担	准教 授	<令和4年4月> Ph.D in Chemistry (イギリス)
,		研究者倫理 材料工学輪講 I 材料工学輪講 II
		村上 健太
兼任	講師	<令和4年4月> 博士(工学)
水江		原子力エネルギーマネジメント 特論 エネルギーエ学輪講 I エネルギー工学輪講 I

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。) ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。 ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼担教員を含む。)を黒字で記入してください。 その上で、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。** ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。 ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。 ・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実み)、兼担、兼任の順に記入してください。 ・ 不要な年度(令和2年度開設であれば令和元年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) - ②担当教員表に関する変更内容

【令和元年度】
【令和2年度】
【令和3年度】
【令和4年度】
・大石潔教授、所属変更のため兼担から専任に変更。 ・河合晃教授、退職のため、欄を削除。 ・北谷英嗣教授、退職のため、欄を追加。 ・三浦友史教授、退職のため、欄を追加。 ・三浦友史教授、授業分担の見直しにより、担当科目を変更。 ・木村哲也准教授、職名を教授に変更。 ・加藤有行准教授、職名を教授に変更。 ・圓道知博准教授、職名を教授に変更。 ・ 副道知博准教授、職名を教授に変更。 ・ 羽山徹彩准教授、職名を教授に変更。 ・ 北條理語子准教授、職名を教授に変更。 ・ 北條理語子推教授、職名を教授に変更。 ・ 北條理語子推教授、授業分担の見直しにより、担当科目を変更。 ・ 北條理語子推教授、授業分担の見直しにより、担当科目を変更。 ・ 本形禁介准教授、授業分担の見直しにより、担当科目を変更。 ・ 志田洋介准教授、専任教員に就任のため、欄を追加。 ・ 章冬准教授、専任教員に就任のため、欄を追加。 ・ 章冬准教授、專任教員に就任のため、欄を追加。 ・ 和大類春津複教授、授業分担の見直しにより、担当科目を変更。 ・ 永元頼春津複教授、授業分担の見直しにより、担当科目を変更。 ・ 永元頼春津複教授、東任教員に就任のため、欄を追加。
・野中尋史教授、退職のため、欄を削除。 ・眞田亜紀子准教授、授業分担の見直しにより、担当科目を変更。 ・大橋智志准教授、授業分担の見直しにより、担当科目を変更。 ・西山雄大講師、職名を准教授に変更。 ・竹澤宏樹准教授、専任教員に就任のため、欄を追加。 ・上村直史准教授、専任教員に就任のため、欄を追加。 ・日高勇気教授、授業分担の見直しにより、担当科目を変更。 ・店司観講師、職名を准教授に変更。 ・藤原健志講師、職名を准教授に変更。 ・藤原健志講師、職名を准教授に変更。 ・藤原健志講師、専任教員に就任のため、欄を追加。 ・日下佳祐講師、専任教員に就任のため、欄を追加。 ・藤澤慶講師、所属変更のため担当科目を変更。 ・佐藤大輔講師、専任教員に就任のため、欄を追加。 ・地・世籍、野任教員に就任のため、欄を追加。 ・世中輸准教授、所属変更のため専任から兼担に変更。 ・佐々木徹准教授、所属変更のため専任から兼担に変更。 ・佐々木徹准教授、所属変更のため専任から兼担に変更。 ・七々木徹准教授、所属変更のため専任から兼担に変更。

- (注)・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
 ・ **窓可で設置された学部等の享任教員を変更する場合**は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、
 大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(A C 教員審査)を受けてください。 **A C 教員審査を受けずに享任教員として授業等を担当することは出来ません。**・ 「専任教員採用等変更書(A C)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
 なお、設置認可審査等に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。

 - ・ 不要な年度(令和2年度開設であれば令和元年度)の表は削除せず、斜線を入れてください。

(2) 専任教員数等

(2) 一① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要研 究指導教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数	完成年度時における 設置基準上の必要研 究指導補助教員数		
10	7	0		
名	名	名		

- (注)・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件(平成十一年九月十四日文部省告示第百七十五号)により 算出される教員数を記入してください。
 - (2) -② 専任教員等数【大学院】

	Ē	殳 置 時	の計画	画				現在(報告時)の状況		
教 授	准教授	講師	助教	計 (A)	助手 (A')	教 授	准教持	受講	師助教	計 (B)	助手 (B')
46	64	5	0	115	0	56	68	5	0	129	0
(52)	(66)	(5)	(0)	(123)	(0)						
研究指導教 数		導補助 講員数	義のみ担当 の教員数			研究指導教 数		咒指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数		
81		30	4 (4)			87		38	4		
(01))完成年度時	の状況			現在	生 (報告時)	の完成年度時	の計画	
	26 IL (тк 🗆 год / О	7767% T/X P/					1 (+1111-17)	- V////////////////////////////////////		
教 授	准教授	講師	助教	計 (C)	助手 (C')	教 授	准教授	受講 館	師 助教	計 (D)	助手 (D')
51	66	5	0	122	0	51	66	5	0	122	0
[5]	[2]	[]	[]	[7]	[]	[5]	[2]] [] []	[7]	[]
研究指導教 数			義のみ担当 の教員数			研究指導教 数		咒指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数		
81	3	17	4			81		37	4		
[]	[7]	[]			[]		[7]	[]		

- (注) ・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。 ・「現在(報告時)の状況」には、報告年度の5月1日の教員数(実人数)を記入してください。 ・「現在(報告時)の完成年度時の状況」には、限可で設置された学部等の場合は、「現在(報告時)の状況」に配入した数字に、 教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、
 - 「現在(報告時)の状況」」に配入した数字に、完成年度までに就任することが決定している数量数を加えた数を配入するとともに、
 - [] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例: 1名減の場合: △1) ・「現在(報告時)の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、
 - [] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例:1名減の場合:△1)
 - ・専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成								
定年規定の定める 定年年齢(歳)	報告時(上記 (B))の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時(上記 (C))の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数						
65	0	0						
歳	名	名						

- (注)・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢(特例等による定年年齢ではありません)、 及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている 教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。 ・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入
 - し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。
 - (2) ④ 設置時の計画に対する教員充足率

現在(報告時)の完成年度時の状況(C) = 122 設置時の計画(A) = 115 106.08

- (注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
 - (2) 一⑤ 現在(報告時)の状況における定年を延長している教員構成率

<u>報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数</u> = 0 現在(報告時)の状況(B) = 0

- (注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
 - (2) -⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

現在(報告時)の完成年度時の状況(C') 設置時の計画(A')

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) 一① 専任教員の就任辞退(未就任)の理由及び後任補充状況

番 号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	1	後任	補充状	況	京	犹任辞退] (未	就任)の理	由		
				必修	材料工学輪講	Ι		1								
١.	#4-170	70 B	R4. 3	必修	材料工学輪講	II		1		D4 O'E EN	<u></u> ±	T ## 11	B (4)			
1	教授	河合 晃	K4. 3	必修	研究者倫理			1		R4. 3退職のため就任辞退。(4)						
				選択	機能材料工学物	寺論		1								
				必修	材料工学輪講	I		1								
2	教授	北谷 英嗣	R4. 3	必修	材料工学輪講	I		1		R4.3退職の	のため就任辞退。(4)					
				必修	研究者倫理			1								
				必修	情報・制御工学輪	講I		1								
3	准教授	野中 尋史	R4. 3	必修	情報・制御工学輪講			1		D4 2月時のため部グ私 (4)						
٥	准叙按	野中 等实	N4. 3	必修	研究者倫理			1		R4.3退職のため就任辞退。(4)						
				選択	社会情報学特	論		1								
				必修	材料工学輪講	Ι		1								
4	准教授	田中論	R4. 3	必修	材料工学輪講	材料工学輪講Ⅱ				D4 2尚中記	「属変更のため就任辞退。(4)					
4	准叙按	四十 訓	N4. 3	必修	研究者倫理			1		14.3子内別属多史のため就任計区。(4)						
				選択	無機構造材料工学	特論		1								
				必修	エネルギー工学輪	講I		1								
5	准教授	佐々木 徹	R4. 3	必修			1			R4.3学内所属変更のため就任辞退。(4)						
3	准叙按	1年ベイ 1取		必修			1									
				選択	高エネルギー密度ブラズマ物性	工学特論		2								
				必修	材料工学輪講	I		1								
6	講師	藤原 健志	R4. 3	必修	材料工学輪講	I	1)			R4.3退職のため就任辞退。(4)						
				必修	研究者倫理			1								
		合計	(D)						往	後任補充状況	の集計	(E))			
疗	就任を辞退した教員数 担当科目数の合計(a)+(b)+						①の合計	十数(a))	②の合計	†数(b))	③の合計	†数(c)	
			必	修	18 科目	Į.	必修	18	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	
			選		4 科目	ì	選択	3	科目	選択	1	科目	選択	0	科目	
	6	人	自	由	0 科目		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	
			ī	†	22 科目		計	21	科目	計	1	科目	計	0	科目	

- (注) · 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 - 「就任辞退(未就任)」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。 就任した後に辞任した教員は、以下「(3)一②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 - 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、 「就任辞退(未就任)の理由」に就任辞退の理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」~「③」から選択し、 「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。
 - ・専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番	号	職	位	専任教員	氏名	時期	必修・選択・自由	の別	担当予定科目	後日	補充物	犬況	辞任等の理由					
									=== 412 6. 1									
									該当なし	<u> </u>								
-																		
-																		
	合計 (F)										4		の集計	(G)				
		話	任	した教員数	ЦП		制数の合詞	† (a)	+ (b) + (c)	①の合計数(a) ②の合計数(b) ③の合計数(c)					c)			
						必	修	0) 科目	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
	0			選	択	0) 科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目		
			0 A		自	由	0) 科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	
						ī	†	0) 科目	計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員についてに記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」 に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」~「③」から選択し、 「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。
 - ・専任教員が担当する (している) 場合は「①」 ・兼任兼担教員が担当する (している) 場合は「②」 ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -③ 上記(3) -①・ (3) -② の合計

	合計 (D) + (F)						後任補充状況の集計(E)+(G)							
辞任等し	た 教員数	担当科目数の合語	(b) + (c)	①の合計	十数(a)	②の合言	计数(b)	③の合計数 (c)						
		必修	18	科目	必修	18 科目	必修	0 科目	必修	0 科目				
		選択	4	科目	選択	3 科目	選択	1 科目	選択	0 科目				
6	Α	自由	0	科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目				
		計	22	科目	計	21 科目	計	1 科目	計	0 科目				

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

(3)-③合計(D)+(F)	_	6	_	5.21	%
(2)-②設置時の計画(A)	_	115	_	5.21	70

- (注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
 - (3) 一⑤ 令和3年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

- (注)・(3) -1、(3) -2で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。
 - (3) 一⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番	号	職	位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当	予定科目	後任補充	状況	辞任等の理由							
						該当	なし			_							
				1	 ⇒計			後任補充状況の集計									
		辞	任l	ンた教員数	担当科目数の合言	† (a) +	(b) + (c)	①の合計数 (a) ②の合計数 (b) ③の合計数 (c)									
					必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	(0	科目
			_		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	(0	科目
			0	人	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	(0	科目
					計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目	計	(0	科目

- (注) · 定年により退職した全ての専任教員についてに記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、<mark>赤字</mark>にて記入するとともに、「辞任等の理由」 に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」~「③」から選択し、 「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

 - ・専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」
- (4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

退職教員の担当予定科目については、学内の他の教員が担当するため、教育上の支障はない。 所属変更により専任教員を就任辞退した教員については、兼担教員として一部科目を担当する。 学生への周知方法については、変更後の教員名をシラバスや時間割に記載していることから、特に問題はないと考える。

(注)・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、 今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附帯事項	等	履行状況	今後の の実施計画
	特になし			
(令和3年)				

- (注)・「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項(<u>学校法人の寄附行為又は</u> <u>寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。</u>)と、それに対する履行状況等について、 具体的に記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、<u>当該大学に付された指摘を</u>全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。 その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<工学研究科 先端工学専攻>

(1) 設置計画変更事項等

設 置 時 の 計 画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	該当なし

- (注)・ 1~6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。) 及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- (2) 教員の資質の維持向上の方策 (FD・SD活動含む)

① 実施体制

a 委員会の設置状況

学部及び大学院における教育方法改善に係る調査・研究、企画及び実践等を通じ技術者教育の総合的な推進を図 るために、教育方法開発センターを設置している。

b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む)

10数名で構成される教育方法開発センター会議を年に8~9回開催している。

- 委員会の審議事項等
 - 授業及び研究指導の内容又は方法の改善を図るための組織的な研修及び研究に関すること。
 - 教育効果測定の方法改善及び分析に関すること。 共通教育と専門教育の教育方法の連携に関すること
 - その他実践的な技術者教育の総合的な計画及び推進に関すること。
- ② 実施状況
 - a 実施内容
 - 新任教員のためのFD研修会
 - FD講演会及び授業スキルアップ研修会
 - 公開授業及び討論会
 - 授業アンケート
 - b 実施方法
 - 1 教育方法開発センターで企画立案し、教育方法開発センターを主体に組織的に実施している。
 - FD講演会及び授業スキルアップ研修会について、内容等を教育方法開発センターで企画立案し、学 内講師または外部講師により実施している。
 - 日本語のは、日本語のでは、日本語のでは、日本語のでは、 3 公開する授業を教育方法開発センターが選定して公開授業を実施し、終了後に授業を実施した教員と授業を 参観した教員間でディスカッションを実施している。 4 学生に対する授業アンケートを実施し、教育方法開発センターにおいて、アンケート結果を集計・分析して、授業担当教員にフィードバックしている。
 - c 開催状況(教員の参加状況含む)

 - 1 新任教員FD研修会は、年1回4月上旬に実施し、原則新任教員は全員参加としている。 2 FD講演会及び授業スキルアップ研修会は、年に7~10回実施し、受講希望者が受講している。 3 公開授業は、年に2回程度実施している。10名程度の参加状況である。

 - 4 授業アンケートは、1学期と2学期に各1回実施している。
 - d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

授業アンケート結果を教員にフィードバックして、教員個々の授業改善のために活用できるようにするととも それに対する教員アンケートを実施し、教員の授業改善への意識づけや授業アンケートに対する意見・要望 を把握するなど、組織的に取り組んでいる。

- ③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況
 - a 実施の有無及び実施時期

博士後期課程の学生に対しては、実施していない。

- 教員や学生への公開状況、方法等
- (注) ・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。 「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

① 体制

該当なし

a 委員会の設置状況

(5月1日現在の委員名簿も添付してください。委員に変更がある場合は、その内容と各区分を踏まえた委員構成であることを説明してください。併せて、別途委員名簿を変更内容が分かるよう加筆の上、提出してください。)

- b 委員会の開催状況(回数や開催日など)
- c 委員会の審議事項等
- d その他
- ② 審議状況
 - a 審議した内容

記入例)

- ・ 地域との連携に関する〇〇の観点から教育課程に対する提案内容
- ・ 産業界との連携に関する〇〇の観点から教育課程に対する提案内容
- b 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への見直し状況
- c 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への反映状況

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

設置の趣旨・目的を達成するように計画通り実施している。 引き続き、設置の趣旨・目的に沿って、教育・研究の水準の向上に取り組んでいく。

- ② 自己点検・評価報告書
 - a 公表(予定)時期 令和5年度中公表予定
 - b 公表方法 大学ホームページ上の公開予定
- ③ 認証評価を受ける計画
 - ・令和7年度に評価機関(独立行政法人大学改革支援・学位授与機構)の評価を受ける予定。
- (注) ・ 設置時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

0	設置計画履行状況報告	:書(令和4年度)	
a	a 公表予定の有無	[有 · 無]	
k	a で「有」の場合≫ b 公表(予定)時期 c 公表方法	○調査結果公表後 1 ヶ月以内 ・ 公表後 2 ~ 3ヶ月以内 ・ 公表後 3ヶ月以降 [つェブサイトへの掲載 ・ その他 ()]]
	aで公表「無」の場合≫ d 公表しない理由		J

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、 設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイトに公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。